

オルガノ株式会社

2017年3月期決算説明会資料

2017年5月16日

目 次

会社概要	3
2017年3月期実績	5
2016年度の振り返り	17
2018年3月期計画	29
新たな中期経営計画（2017～2019年度）	39
さらなる発展に向けて	49
コーポレートガバナンスに関する取組み	61

会社概要

社名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,100名（連結） ※2017年3月31日時点		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
		ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

連結の範囲

【国内・海外連結子会社】

エリア		連結子会社名	主な事業内容	
国内		オルガノプラントサービス	水処理プラントの施工・メンテナンス	
		オルガノフードテック	食品添加剤製造・販売	
		オルガノエコテクノ	排水処理プラント設計・施工	
		オルガノアクティ	印刷、保険代理、管理業務受託	
海外	中国	Organo (Suzhou) Water Treatment	水処理エンジニアリング事業	
	台湾	Organo Technology	水処理エンジニアリング事業	
	東南アジア		Organo (Asia) <マレーシア>	水処理エンジニアリング事業
			Organo (Thailand) <タイ>	水処理エンジニアリング事業
			Lautan Organo Water <インドネシア>	水処理エンジニアリング事業

【参考：国内・海外非連結関連会社】

エリア		非連結関連会社名	主な事業内容
国内		ホステック	標準型水処理機器製造
		東北電機鉄工	各種プラント設計・施工
海外	東南アジア	Organo (Singapore) <シンガポール>	水処理エンジニアリング事業
		Organo (Vietnam) <ベトナム>	水処理エンジニアリング事業
	南アジア	Murugappa Organo Water Solutions <インド>	水処理エンジニアリング事業

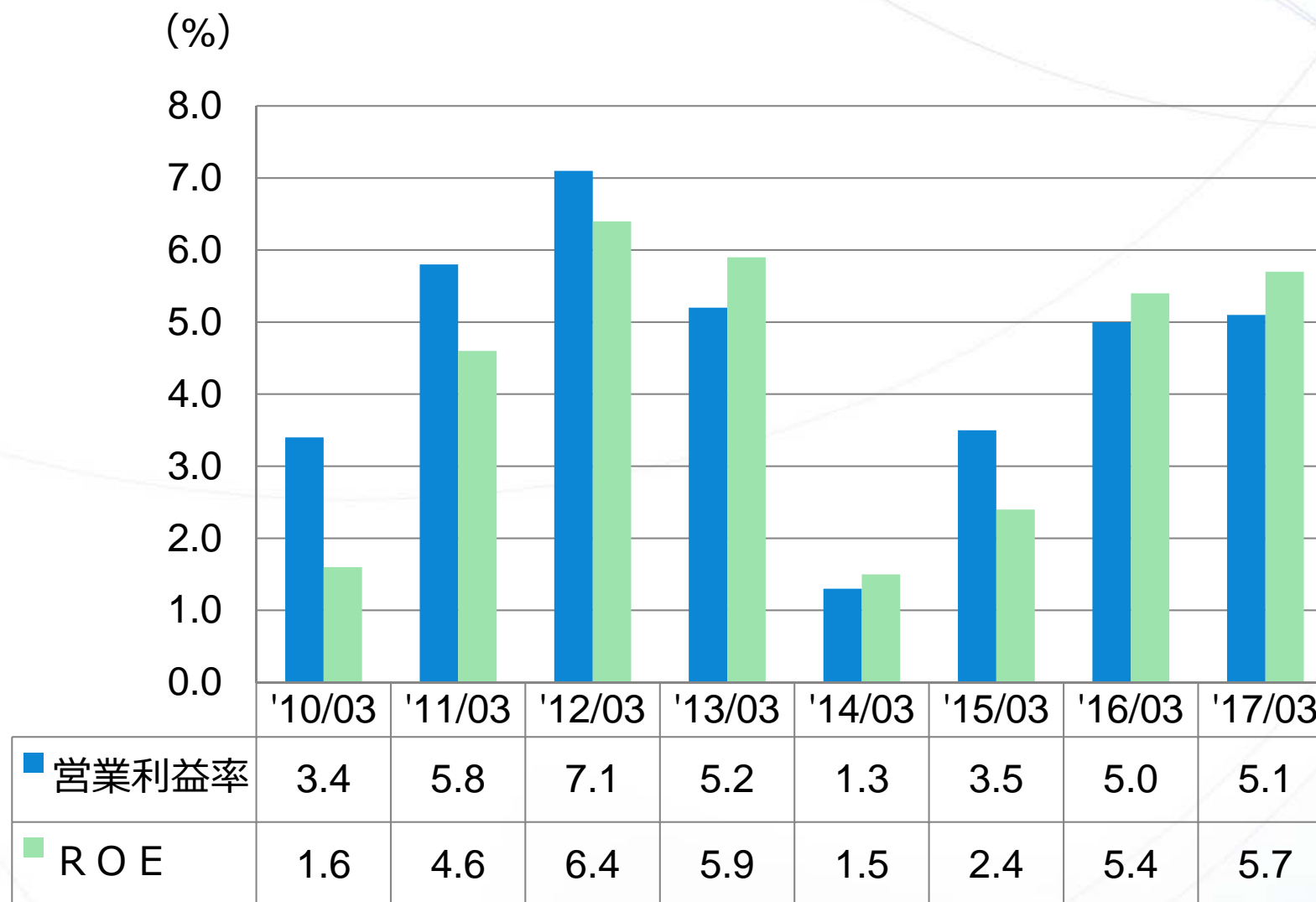
2017年3月期実績

- 実績
- 営業利益率・ROEの推移
- 決算 サマリー
- セグメント別実績
- 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
- 機能商品事業 部門別売上高
- 地域別売上高
- 営業利益分析（要因別）
- 貸借対照表
- キャッシュフロー分析

実績

	2016/03 実績	2017/03 計画	2017/03 実績	前期差	計画差
受注高	76,485	76,500	74,041	- 2,444	- 2,458
売上高	78,719	79,000	81,114	2,395	2,114
売上総利益 (%)	17,749 (22.5)	17,300 (21.9)	18,644 (23.0)	894 (0.5 pt)	1,344 (1.1 pt)
販管費	13,802	14,300	14,529	727	229
営業利益 (%)	3,947 (5.0)	3,000 (3.8)	4,114 (5.1)	166 (0.1 pt)	1,114 (1.3 pt)
経常利益	3,871	2,900	4,162	290	1,262
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,485	1,950	2,731	245	781
ROE (%)	5.4	4.1	5.7	0.3 pt	1.6 pt

営業利益率・ROEの推移
(2010年3月期～2017年3月期)



決算 サマリー

<市場環境>

国内

- 【産業全般】 大型設備投資少ないが維持更新投資漸増
- 【電子分野】 大型設備投資が一部企業に限定
- 【電力分野】 原子力発電所の再稼働はスローペース
火力発電所新規投資計画は低い水準
- 【一般産業分野】 徐々に回復基調

海外

- 【電子分野】 iPhone関連需要が高い水準維持、台湾を中心に想定より
生産設備稼働率高
- 【電力分野】 中国の半導体分野は国産化政策に伴い外資を含む大型投資計画が進行
アジア地域において、一部計画遅延があるものの、
発電所新設計画が進行
- 【一般産業分野】 中国では景気停滞継続、タイでは投資停滞
- 【水処理市場全般】 需要は拡大傾向／ローカル水処理企業を含めた競合激化

決算 サマリー

<事業概況>

- 【電力分野】 国内メンテ好調／海外プラント予定案件延期等
- 【電子分野】 国内プラント予定案件延期・中止等／台湾プラント案件堅調／中国受注拡大
- 【一般産業分野】 プラント・ソリューション好調／高利益案件への注力・営業利益率改善
- 【機能商品】 営業強化により伸長



受注高

前期比・計画比 減

売上高

前期比・計画比 増

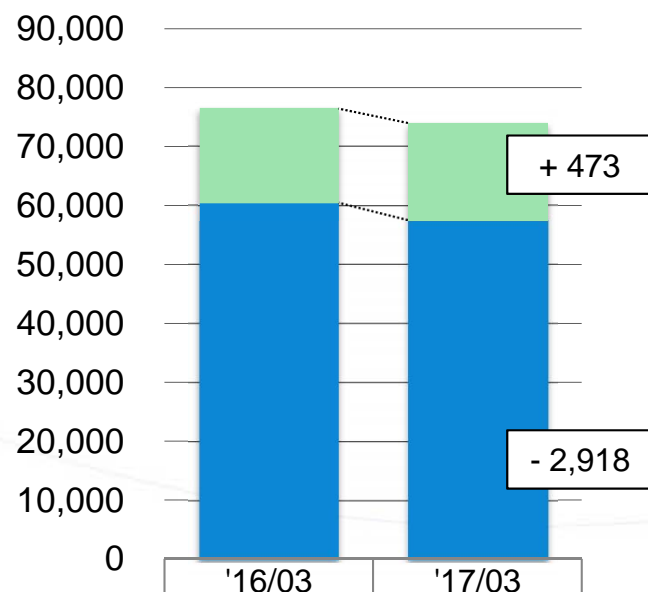
営業利益

前期比・計画比 増

(単位：百万円)

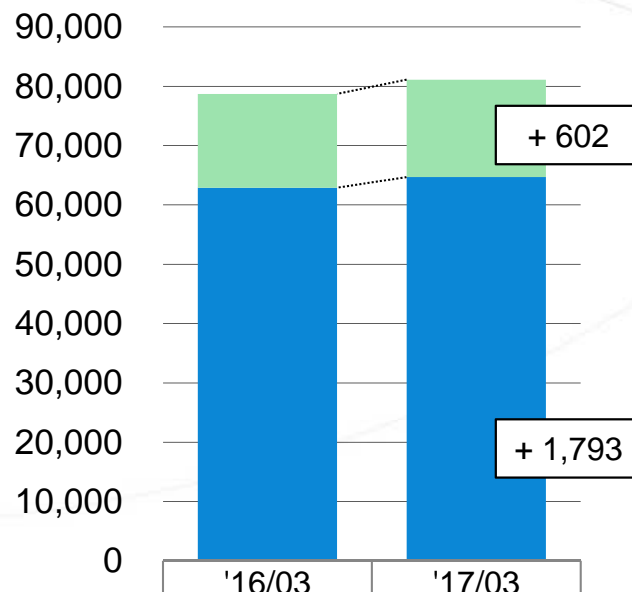
セグメント別実績

受注高



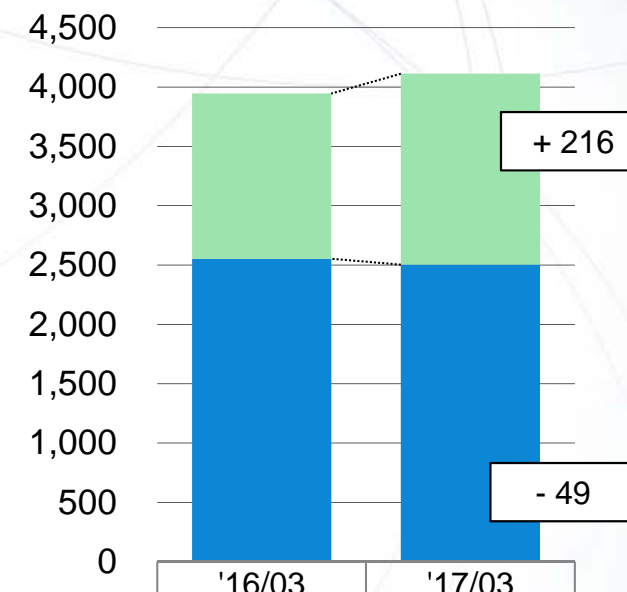
	'16/03	'17/03
計	76,485	74,041
機能商品	15,956	16,429
水処理エンジ	60,529	57,611

売上高



	'16/03	'17/03
計	78,719	81,114
機能商品	15,811	16,413
水処理エンジ	62,907	64,700

営業利益



	'16/03	'17/03
計	3,947	4,114
機能商品	1,393	1,609
水処理エンジ	2,553	2,504

【機能商品事業】

受注高・売上高・営業利益 (+) : 水処理薬品の販売が伸長

【水処理エンジニアリング事業】

受注高 (-) : 前期高水準だった台湾の電子産業向けプラントで減少

売上高 (+) : 一般産業向けプラント・ソリューションで増加

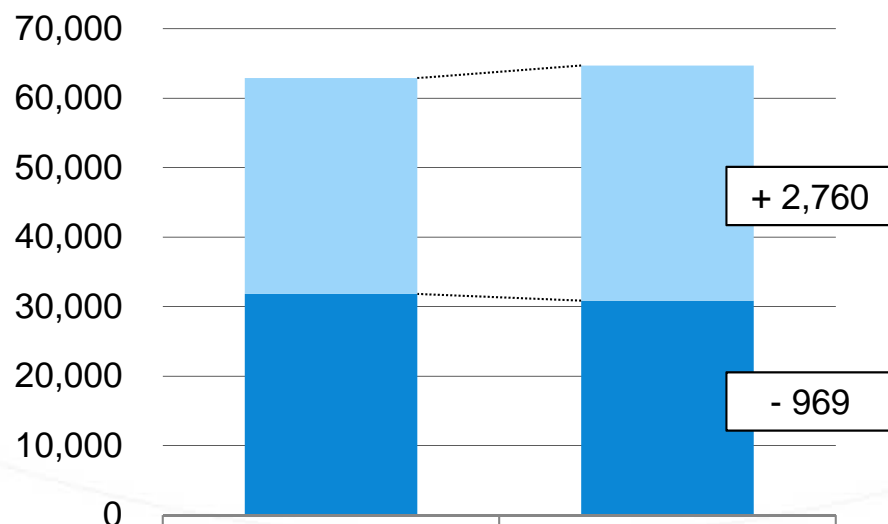
営業利益 (-) : 国内電子産業分野向けプラント売上減

【水処理エンジニアリング事業】部門・顧客別売上高

(単位：百万円)

部門別売上高

顧客別売上高



	'16/03	'17/03
計	62,907	64,700
■ ソリューション	31,075	33,835
■ プラント	31,833	30,864

	'16/03	'17/03
計	62,907	64,700
■ 一般産業	20,590	27,185
■ 電力・上下水道	11,959	11,960
■ 電子産業	30,359	25,555

【ソリューション】 (+)

一般産業分野向けのメンテナンスで増加

【プラント】 (-)

国内電子産業分野向けプラントで減少

【一般産業】 (+)

排水/用水・純水分野でプラント・メンテナンス増加

【電力・上下水道】 (横ばい)

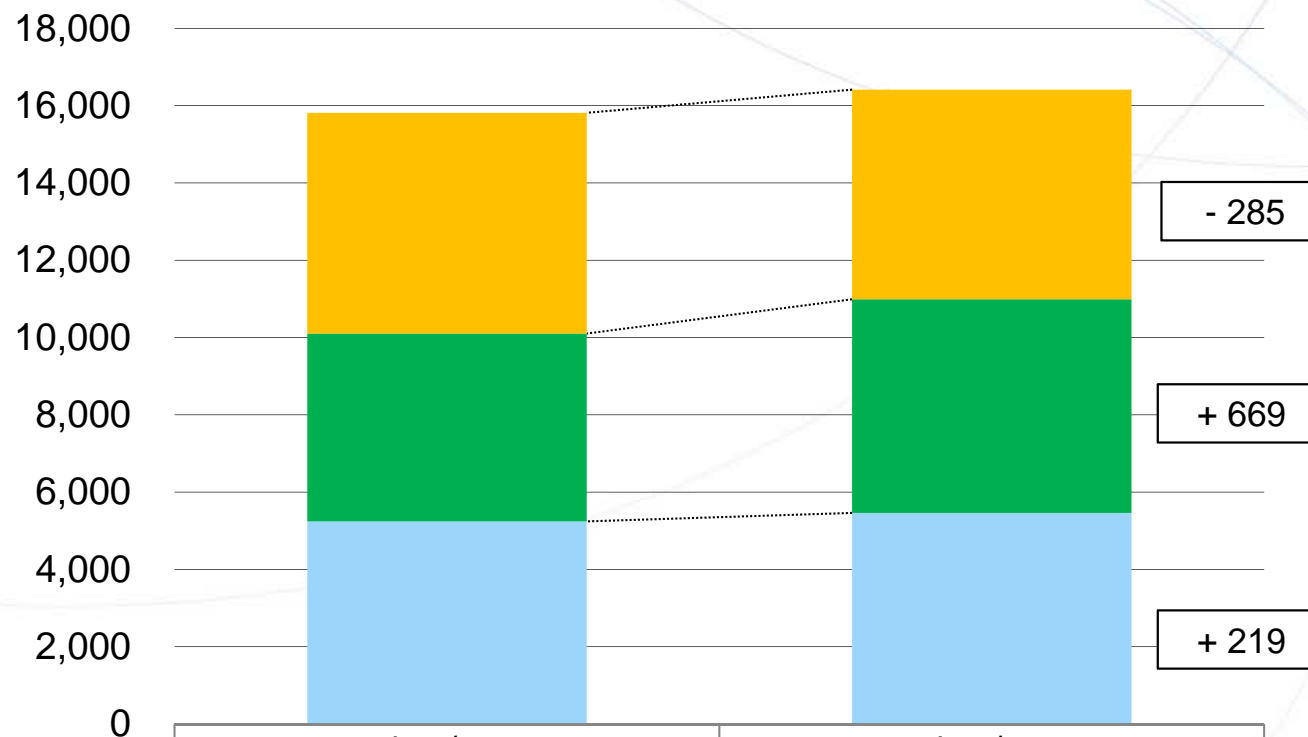
発電所向けプラントで減少/上下水道プラントで増加

【電子産業】 (-)

国内プラントで減少

(単位：百万円)

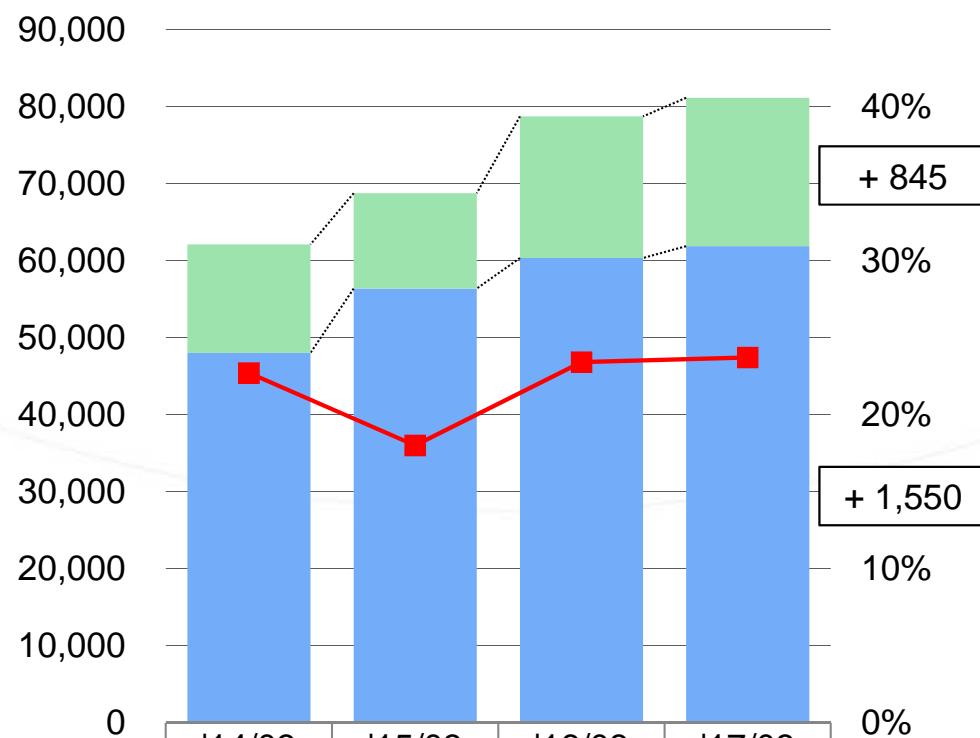
【機能商品事業】 部門別売上高



	'16/03	'17/03
計	15,811	16,413
■ 食品添加剤	5,710	5,425
■ 水処理薬品	4,860	5,529
■ 標準型機器・フィルター	5,241	5,460

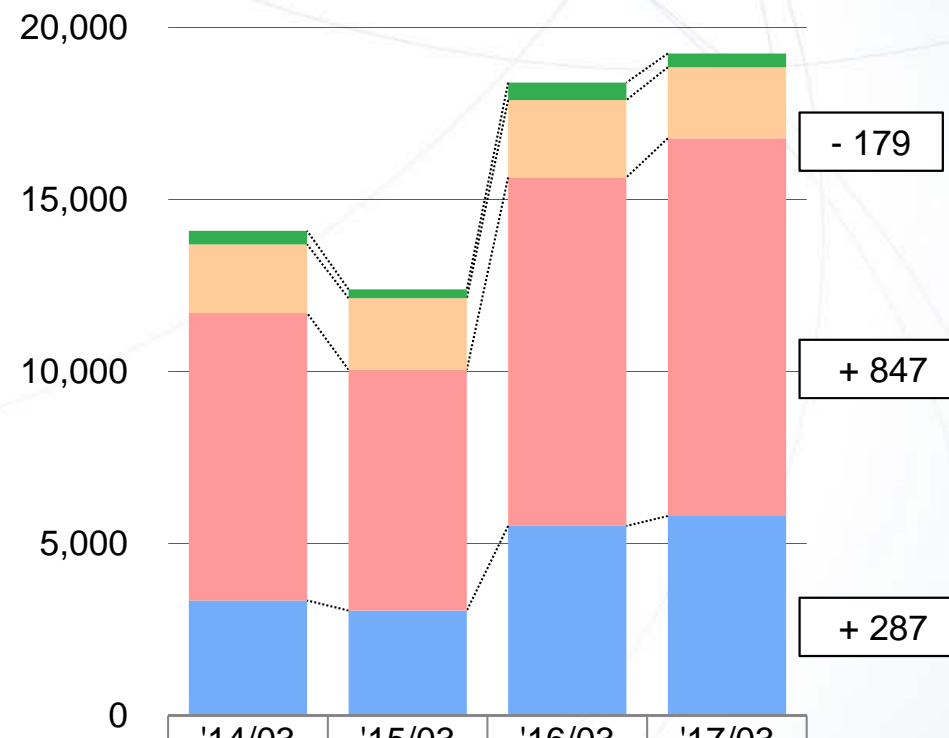
地域別売上高

国内・海外別売上高



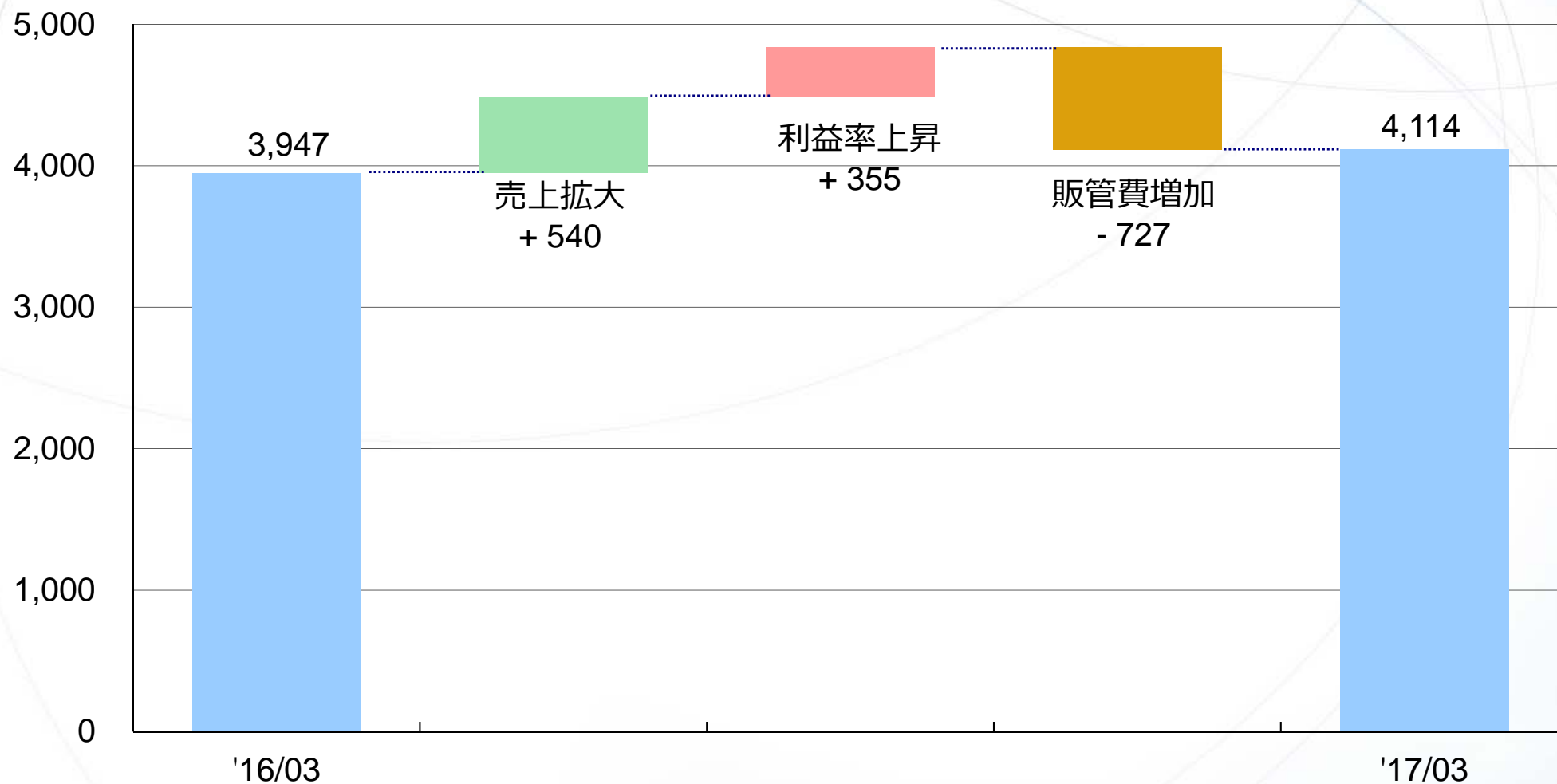
	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	62,096	68,741	78,719	81,114
海外	14,090	12,390	18,399	19,244
国内	48,005	56,351	60,319	61,869
海外比率	22.7%	18.0%	23.4%	23.7%

海外 地域別売上高



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	14,090	12,390	18,399	19,244
その他	396	256	507	397
中国	1,993	2,076	2,247	2,068
台湾	8,352	6,999	10,128	10,975
東南アジア	3,349	3,057	5,516	5,803

営業利益分析（要因別）

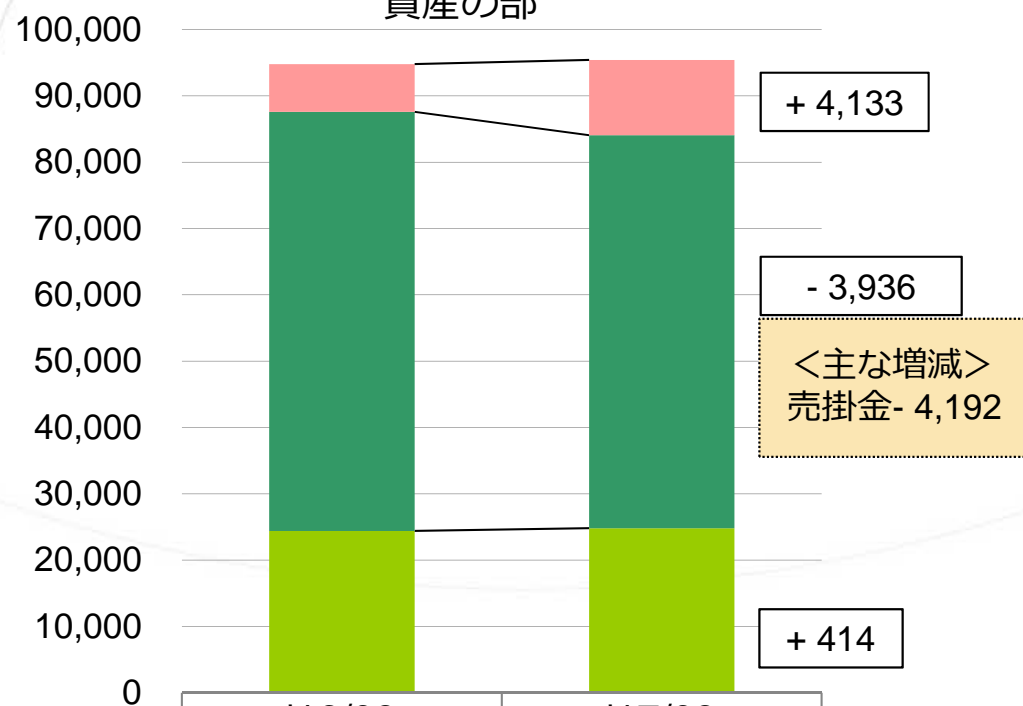


※売上拡大と利益率上昇は、売上総利益率を用いて算出。

(単位：百万円)

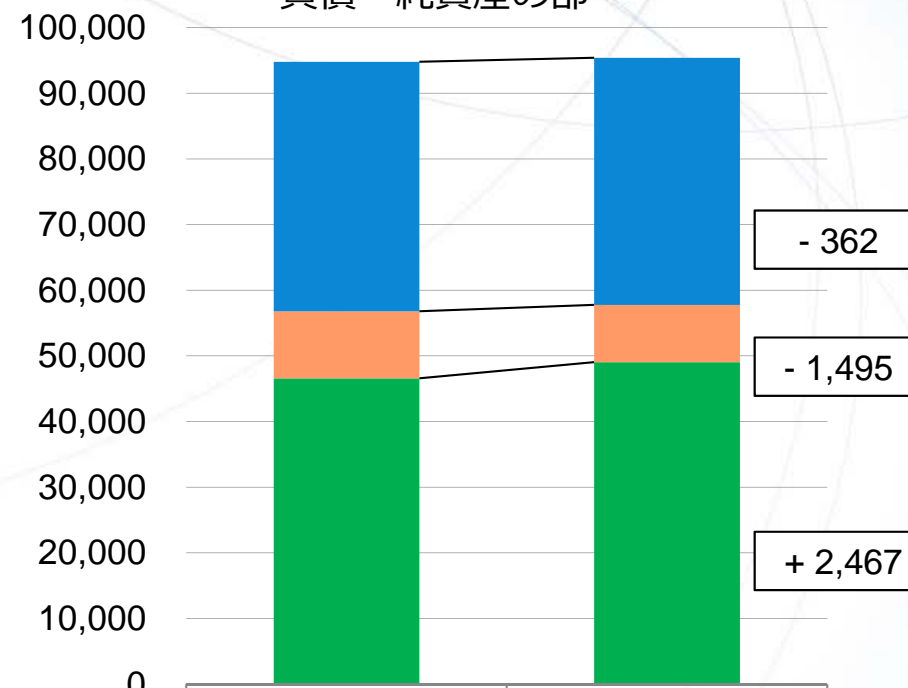
貸借対照表

資産の部



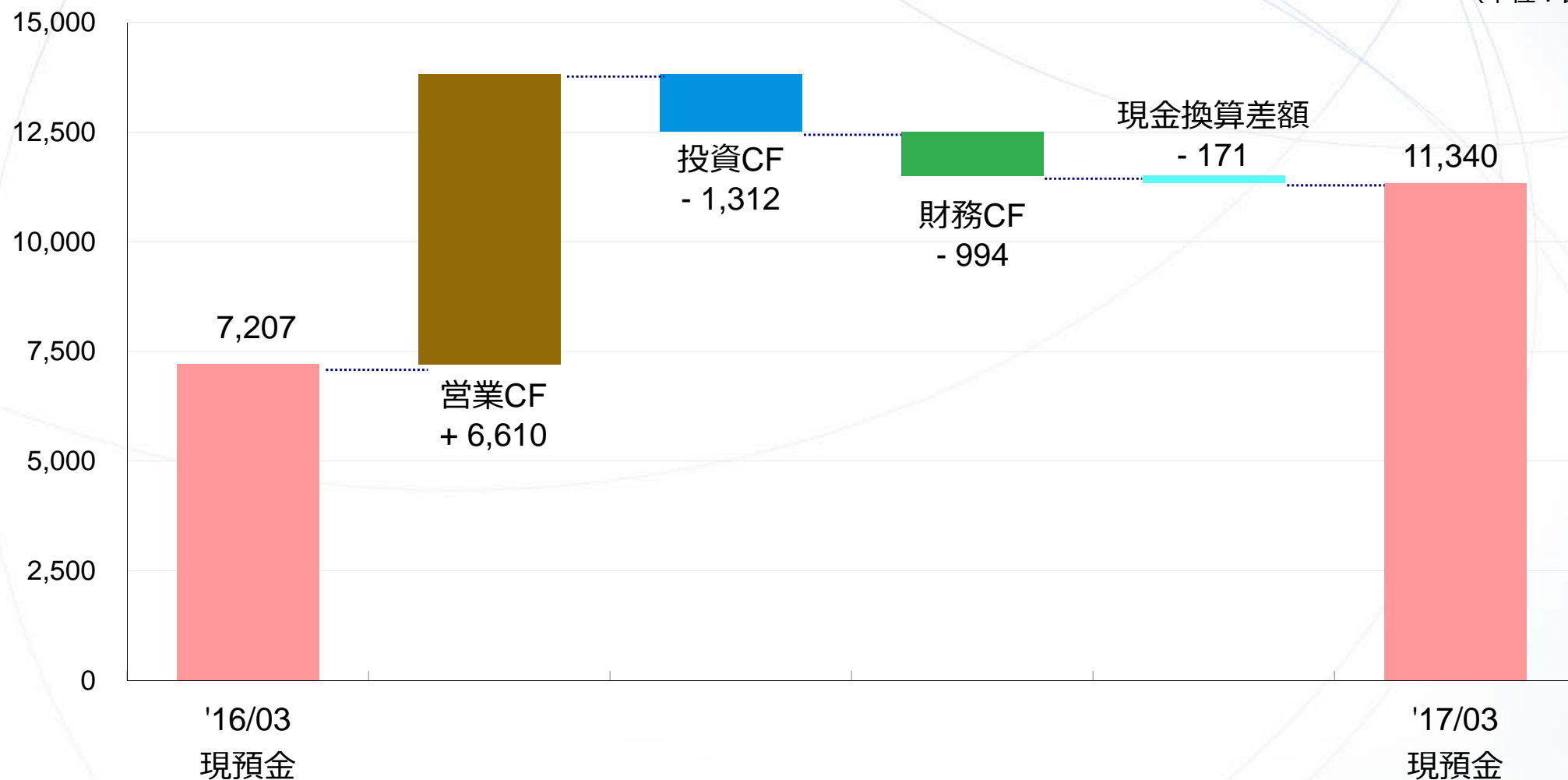
	'16/03	'17/03
計	94,795	95,405
■ 現預金	7,207	11,340
■ 流動資産 (現預金除)	63,202	59,266
■ 固定資産	24,386	24,800

負債・純資産の部



	'16/03	'17/03
計	94,795	95,405
■ 流動負債	38,002	37,640
■ 固定負債	10,225	8,730
■ 純資産	46,567	49,034

キャッシュフロー分析



営業CF：売掛金の回収によりプラス
 投資CF：固定資産の取得によりマイナス
 財務CF：長期借入金の約定弁済や配当金の支払いによりマイナス

2016年度の振り返り

- 2016年度策定の中期経営計画の概要
- 設定した重点施策
- 各重点施策に係る2016年度の実施と課題

2016年度策定の中期経営計画の概要

経営ビジョン	<p>主要アジア経済圏において、産業が求める品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに提供できる、収益力あるエンジニアリング会社</p>
目標経営指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2018年度までにROEを安定的に5%以上、将来的に8%以上を目指す ◆ それを実現するための最重要経営指標を営業利益率とし、2018年度以降安定的に5%以上が達成できる収益構造とする

(単位：百万円)

	2016/03実績	2017/03計画	2017/03実績	2018/03計画	2019/03計画
受注高	76,485	76,500	74,041	80,000	86,000
売上高	78,719	79,000	81,114	81,000	84,000
営業利益	3,947	3,000	4,114	3,400	4,200
同率(%)	5.0	3.8	5.1	4.2	5.0
ROE (%)	5.4	4.1	5.7	4.5	5.3

設定した重点施策

電力分野

- 国内事業の確実な維持
- 海外需要拡大地域へのシフト

電子分野

- 超純水等の洗浄媒体を供給する装置・システム事業拡充

機能商品分野

- 標準型水処理機器等の開発・機能向上
- 機能材料の機能開発
- 新分野への展開

研究・技術開発

- 独自性・進歩性の高い製品・技術開発への注力
(半導体製造プロセス／水処理薬品／機能材料)

収益性

- 資源の最適配分とコスト削減
⇒ 高収益事業・成長事業への注力

海外

- 地域ごとの戦略策定
- ローカル独自の技術開発
- ローカルマネジャー育成

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

電力分野

	事業環境・取組み	課題
国内	原子力発電所の再稼働はスローペース 火力発電所の新規投資は低レベル ソリューション案件を着実に受注	コスト競争力の改善
海外	計画案件の延期等 マレーシアに専任チームを設置 海外企業との協業に着手	コスト競争力の改善 海外企業との協業推進

電子分野

	事業環境・取組み	課題
国内	大型設備投資低水準 改造・メンテナンス案件の着実な受注	コスト競争力の改善
海外	【台湾】投資環境に一服感あるものの、着実に収益を確保 【中国】半導体分野の旺盛な投資計画に中国／台湾／日本が連携して対応し、受注増	グループ会社の更なる連携強化

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

機能商品事業

	事業環境・取組み	課題
標準型 機器	営業力強化 戦略商品開発の進捗	次世代・差別化商品の開発継続 海外事業展開検討
薬品	販売網強化等により売上・利益増 安定化次亜臭素酸塩系薬品の海外販売 開始	海外事業拡大 生産・供給体制整備 差別化商品の更なる開発
食品	高齢化・健康志向社会のニーズをとら えた顧客開拓が進捗 研究設備、生産設備の増強	新規ニーズ獲得のためのマーケティング 生産性効率向上

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

研究・技術開発

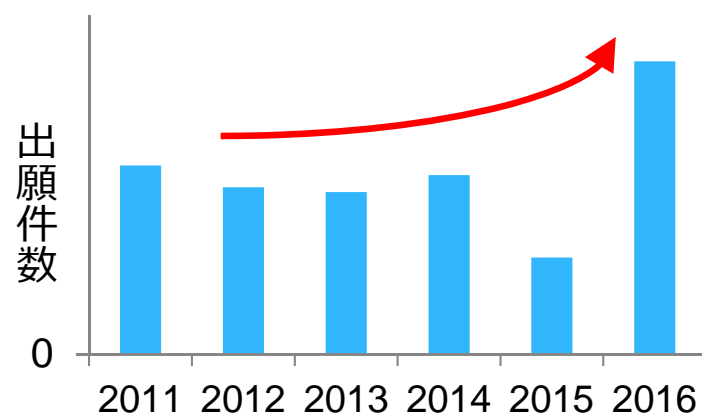
取組み・成果

- ・ 開発部門への投入資源を増加（要員・予算）
- ・ 事業部門との連携強化
- ・ 知財戦略強化

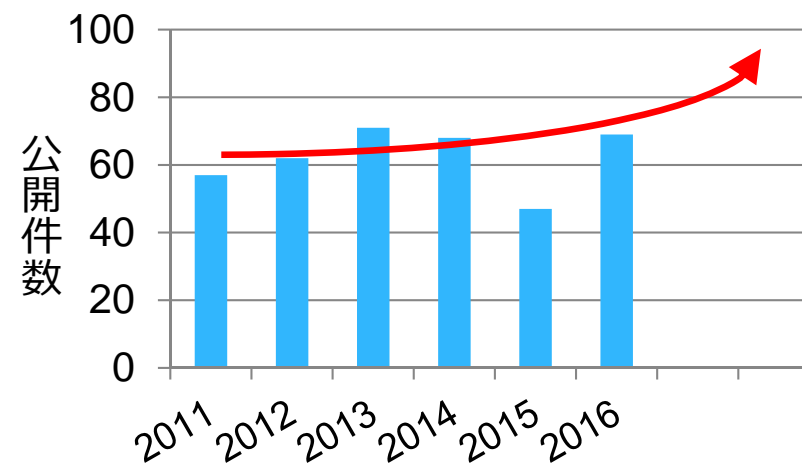
特許出願数：過去5か年平均値に比べ84%増 ⇒ 公開件数 大幅増へ

全般

出願数



公開数



公開年

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

研究・技術開発

取組み・成果

糖類精製プロセス分野の強化
＜吸着剤を用いたクロマト分離による糖類精製事業（1950年代～）＞

- 単糖類クロマト分離用吸着剤（2016年11月1日発売）

二糖類
(砂糖、麦芽糖 等)

オリゴ糖

実績多数

+

単糖類
(ブドウ糖、果糖 等)

新規吸着剤を開発

単糖類・二糖類・オリゴ糖の
分離精製市場をすべてカバー

既存事業
分野



クロマト分離設備

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

研究・技術開発

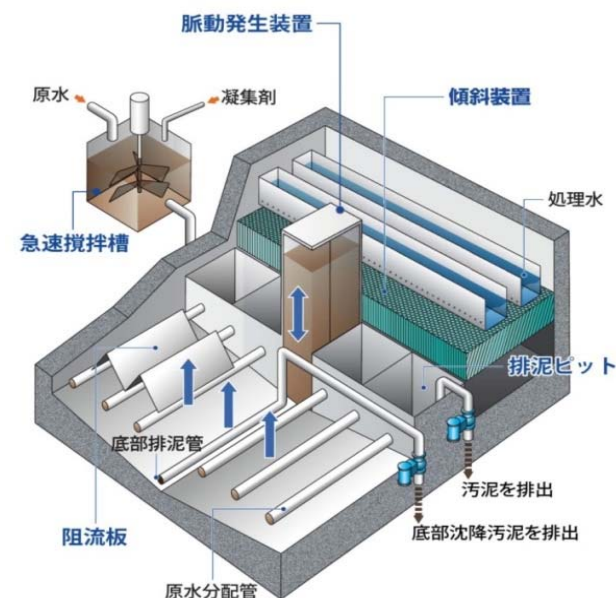
取組み・成果

上下水道分野の強化

○ 新型脈動式高速凝集沈殿池「ウェーブセトラー」

- ◆ 省スペース
- ◆ 省電力／維持管理容易
- ◆ 運転管理容易

- ・ 1号機受注
- ・ 全国の浄水場への提案活動強化



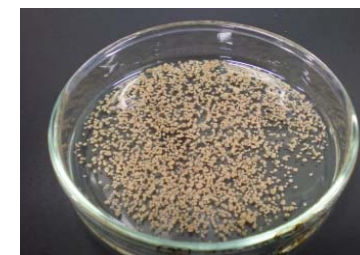
既存事業
分野

○ 下水処理向け好気グラニューール技術

<有効な微生物を高密度に凝集させた
グラニューール汚泥を利用した生物処理法>

- ◆ コンパクトな設備
- ◆ 建設費・維持管理削減

開発・実証 継続中



各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

研究・技術開発

取組み・成果

半導体
プロセス分野

○ 新方式アンモニア水供給装置

- ◆ 微粒子の洗浄能力強化
- ◆ 静電気の発生防止性能向上
- ◆ 基板表面材料の腐食防止率向上

半導体顧客向けに納入



○ 高感度過酸化水素モニター

<超純水中の過酸化水素（ウェハ表面を酸化腐食）の管理>

- ◆ 定量下限 < 1μg/L
- ◆ 酸化性物質除去触媒「オルデトックス」との併用で超純水中過酸化水素の処理と管理を同時に実現

半導体顧客でのデモ評価実施中



○ オンライン尿素計「オルウレア」

<超純水原水中の尿素（TOC源）の管理>

半導体顧客向けに受注



各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

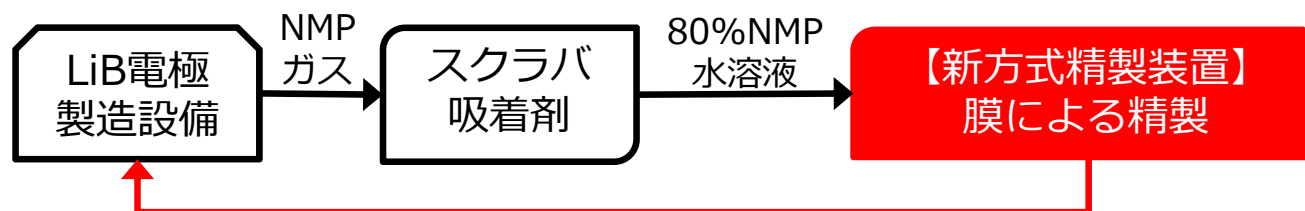
研究・技術開発

取組み・成果

○ NMP (N-メチルピロリドン) のオンサイト回収・精製技術の開発

NMP	<ul style="list-style-type: none"> ■ リチウムイオン電池 (LiB) の正極製造等に使用される溶剤 ■ 電気自動車 (EV) の普及とともに使用量拡大 ■ 従来は蒸留法を用いた精製装置により回収
-----	--

【NMP回収概略フロー】



精製NMP (水分<100ppm)
※従来法では水分<500ppm

日本・中国のLiBメーカー等に提案中
⇒ 中国メーカーから受注見込み

二次電池
関連分野

各重点施策に係る2016年度の取組みと課題

収益性

	取組み・成果	課題
取組み	高収益事業への資源シフト 低収益事業の構造解析・高利益化策の実行	経営資源の最適化と見直しの継続
成果	一般産業分野で収益性改善	

海外

	事業環境・取組み	課題
取組み	インドネシア、ベトナムの工場機能強化 インドへの技術支援強化・技術移転推進	コスト競争力の強化 各国・地域の事業環境に基づいた収益改善 既存地域以外への事業展開可能性の探索
成果	中国半導体案件への受注・納入体制整備進捗 海外売上高比率23.7%で前年度と同水準 (対円通貨安の影響あり) 収益改善が進捗しない国・地域 (タイでの景気低迷による設備投資減 等)	

2016年度の総括

- 日本の景気回復を背景に、概ね良好な業績
- 企業価値を増大し、持続的な成長を可能とするインパクトのある新規事業創出、技術創出は不十分
- 1～2年間は資源投入し、大きな成長を目指した腰の入った施策を実行する必要あり

2018年3月期計画

- 2018年3月期計画
- セグメント別計画
- 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
- 機能商品事業 部門別売上高
- 地域別売上高
- 営業利益分析（要因別）
- 電子産業向け 受注高／売上高推移
- 受注高・売上高・受注残高推移
- 主な指標

2018年3月期計画

概要

- 収益性改善、既存事業強化のための技術・製品の創出及び改良、中長期の成長を可能とする研究開発の充実に資源投入
- <受注高> 前期比増 <売上高> 前期並み <営業利益> 前期比減

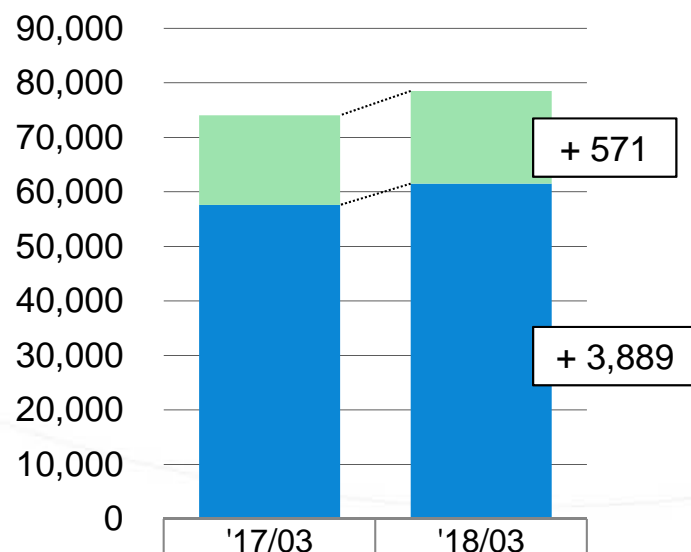
(単位：百万円)

	2017/03 実績	2018/03 計画	前期差
受注高	74,041	78,500	4,458
売上高	81,114	81,000	- 114
売上総利益 (%)	18,664 (23.0)	17,650 (21.8)	- 994 (- 1.2 pt)
販管費	14,529	14,600	70
営業利益 (%)	4,114 (5.1)	3,050 (3.8)	- 1,064 (- 1.3 pt)
経常利益	4,162	2,950	- 1,212
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,731	2,000	- 731

(単位：百万円)

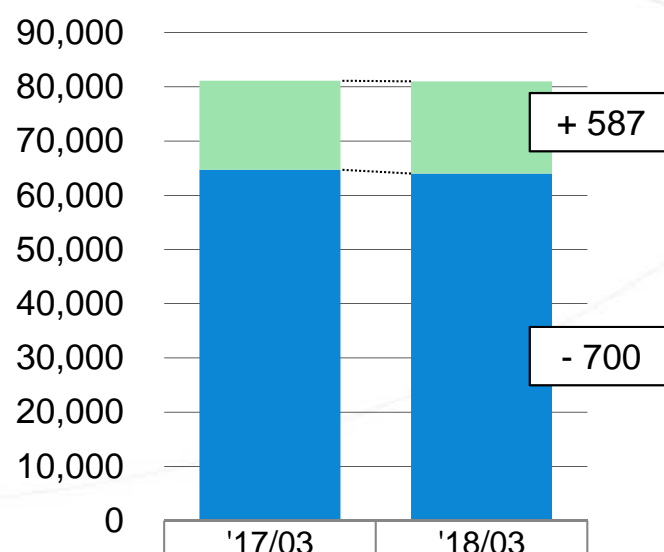
セグメント別計画

受注高



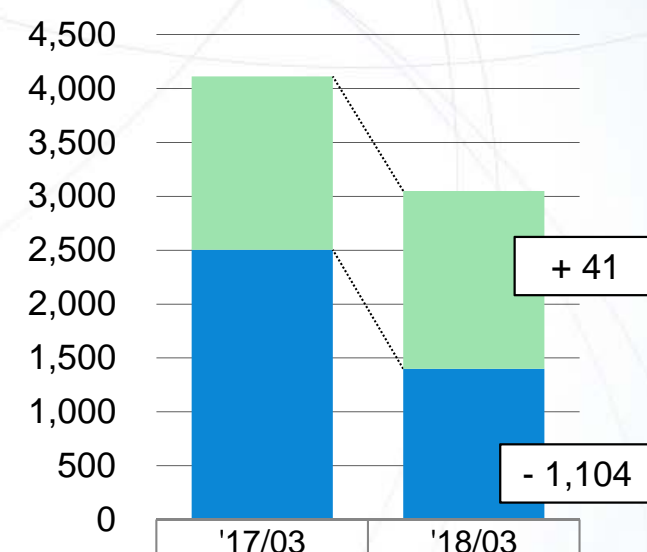
	'17/03	'18/03
計	74,041	78,500
機能商品	16,429	17,000
水処理エンジ	57,611	61,500

売上高



	'17/03	'18/03
計	81,114	81,000
機能商品	16,413	17,000
水処理エンジ	64,700	64,000

営業利益



	'17/03	'18/03
計	4,114	3,050
機能商品	1,609	1,650
水処理エンジ	2,504	1,400

【機能商品事業】

受注高・売上高・営業利益 (+) : 水処理薬品、標準機器等の拡販

【水処理エンジニアリング事業】

受注高 (+) : 中国電子産業プラントで大幅増加

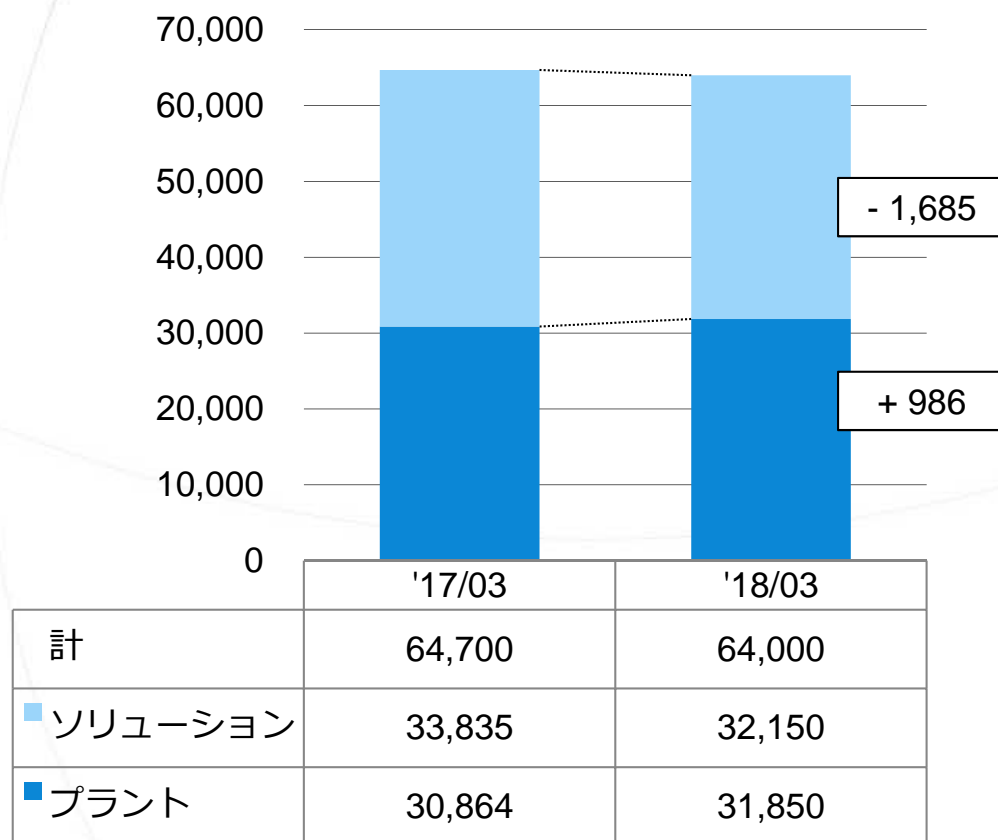
売上高 (横ばい) : 国内一般産業・台湾電子産業プラントで減少、中国電子産業プラントで増加

営業利益 (-) : 台湾電子産業プラント、国内電子産業ソリューション売上減、研究開発強化

【水処理エンジニアリング事業】部門・顧客別売上高

(単位：百万円)

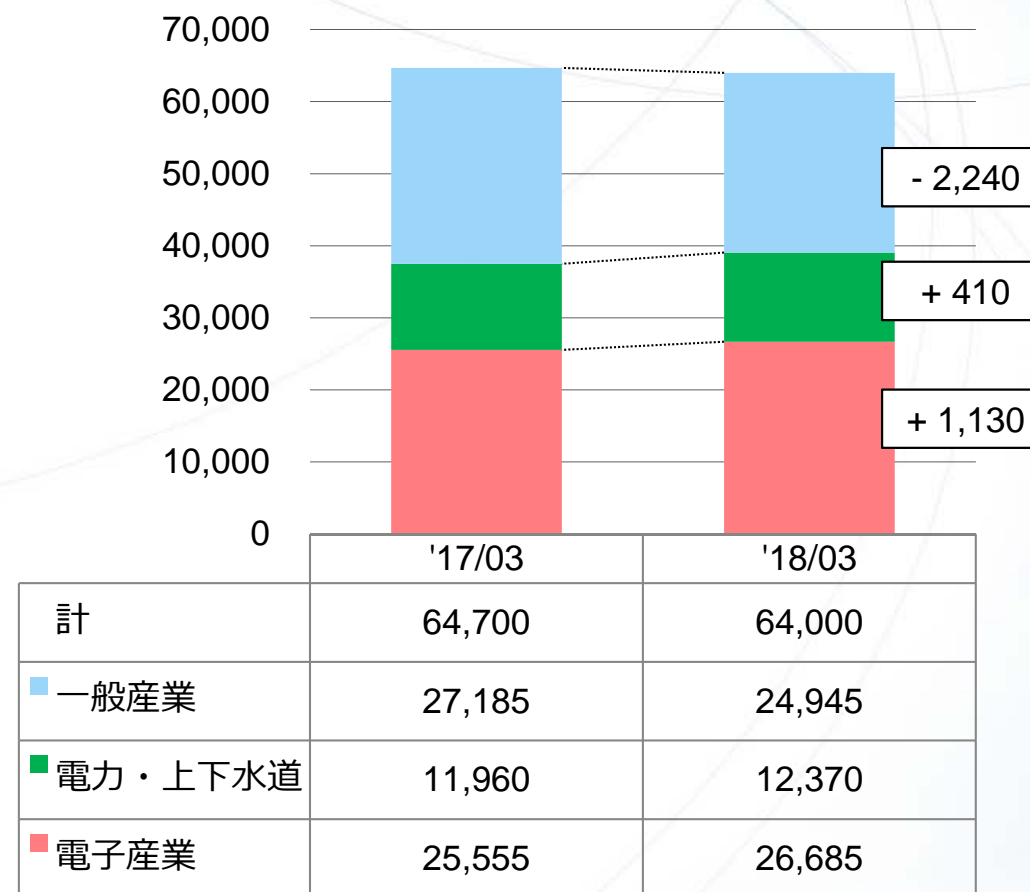
部門別売上高



【ソリューション】 (-) : 国内一般産業で減少

【プラント】 (+) : 中国電子産業分野で増加

顧客別売上高



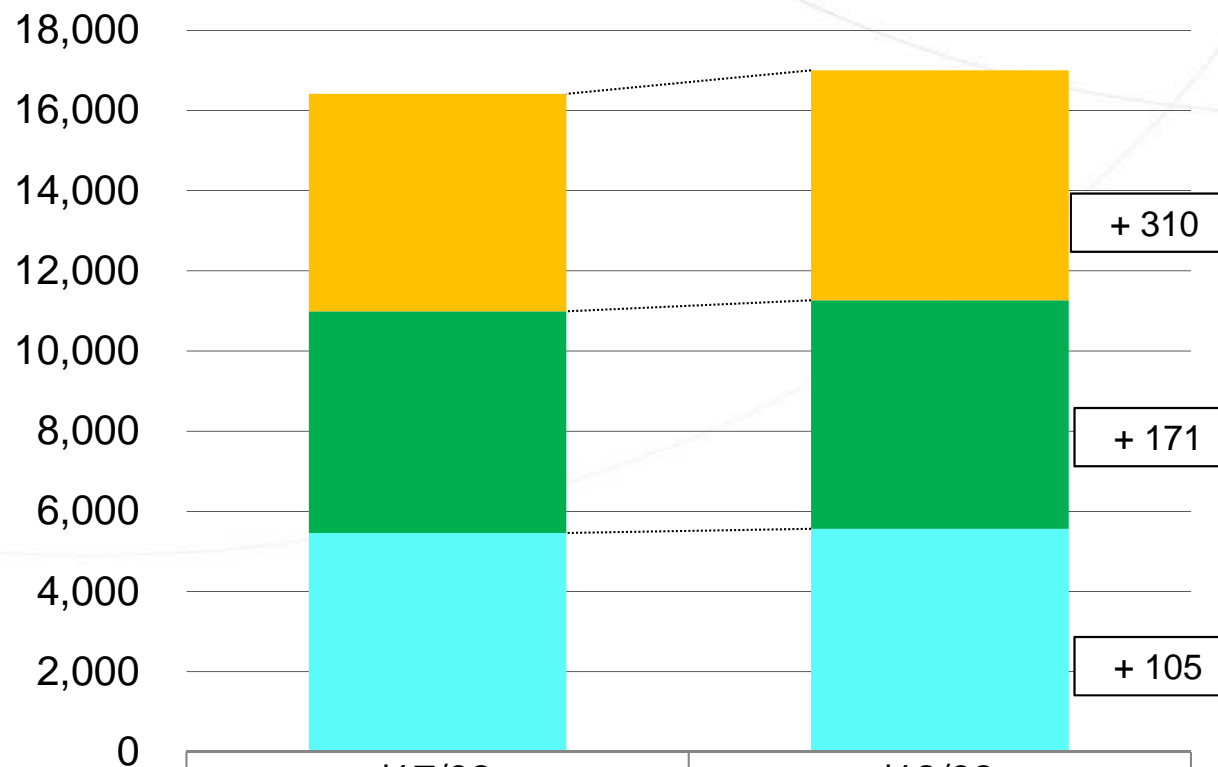
【一般産業】 (-) : 国内の排水・用水分野で減少

【電力・上下水道】 (+) : 電力・上下水道とも増加

【電子産業】 (+) : 中国半導体分野で増加

(単位：百万円)

【機能商品事業】 部門別売上高

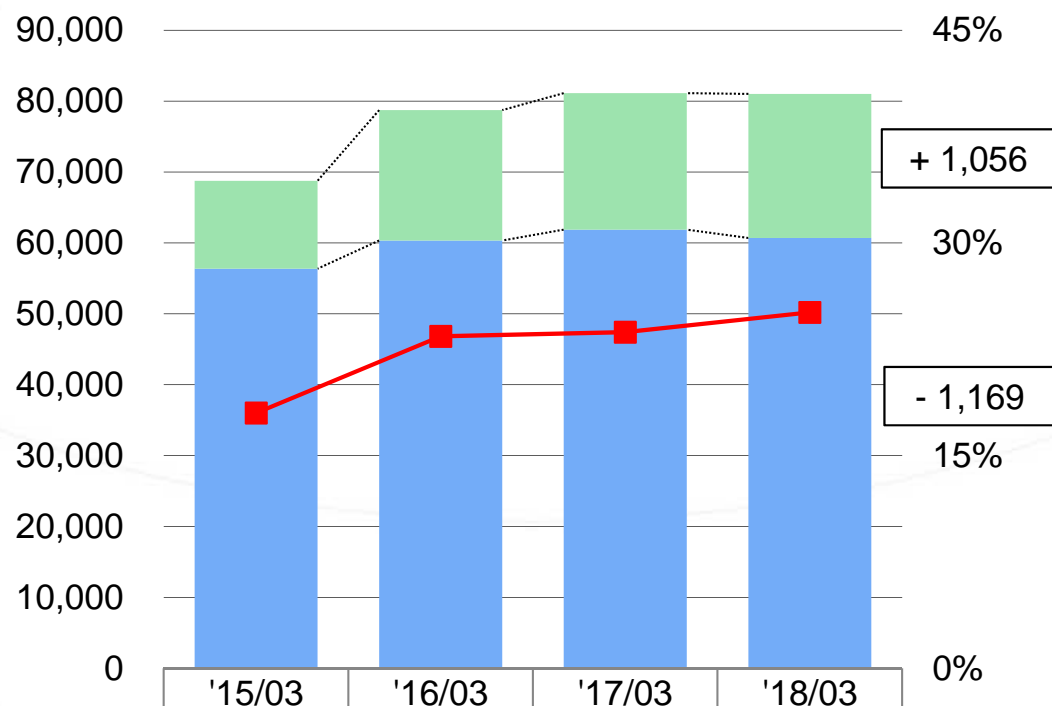


	'17/03	'18/03
計	16,413	17,000
■ 食品添加剤	5,425	5,735
■ 水処理薬品	5,529	5,700
■ 標準型機器・フィルター	5,460	5,565

(単位：百万円)

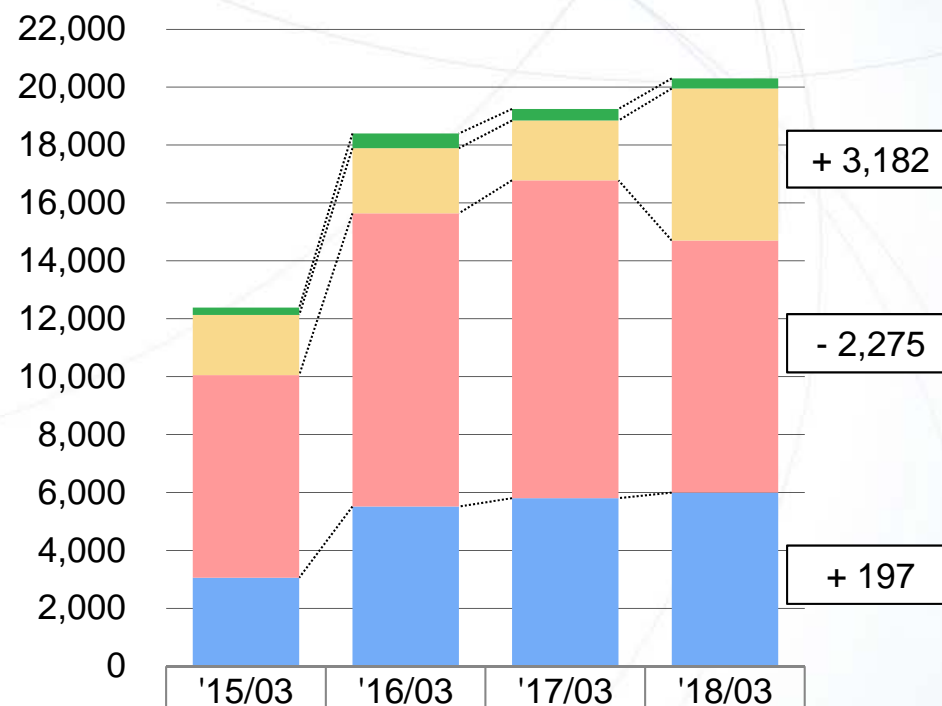
地域別売上高

国内・海外別売上高



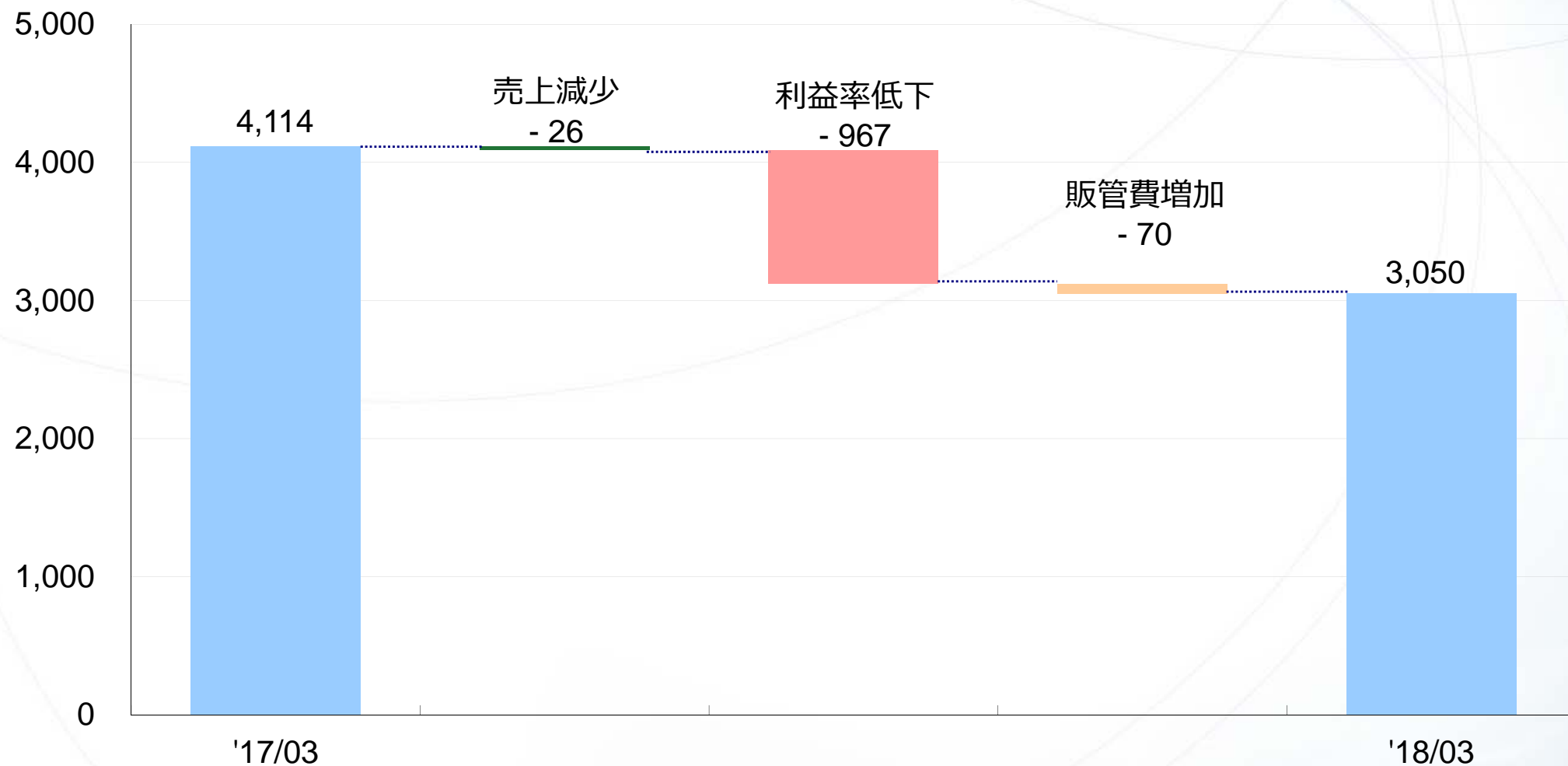
	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03
計	68,741	78,719	81,114	81,000
海外	12,390	18,399	19,244	20,300
国内	56,351	60,319	61,869	60,700
海外比率	18.0%	23.4%	23.7%	25.1%

海外 地域別売上高



	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03
計	12,390	18,399	19,244	20,300
その他	256	507	397	350
中国	2,076	2,247	2,068	5,250
台湾	6,999	10,128	10,975	8,700
東南アジア	3,057	5,516	5,803	6,000

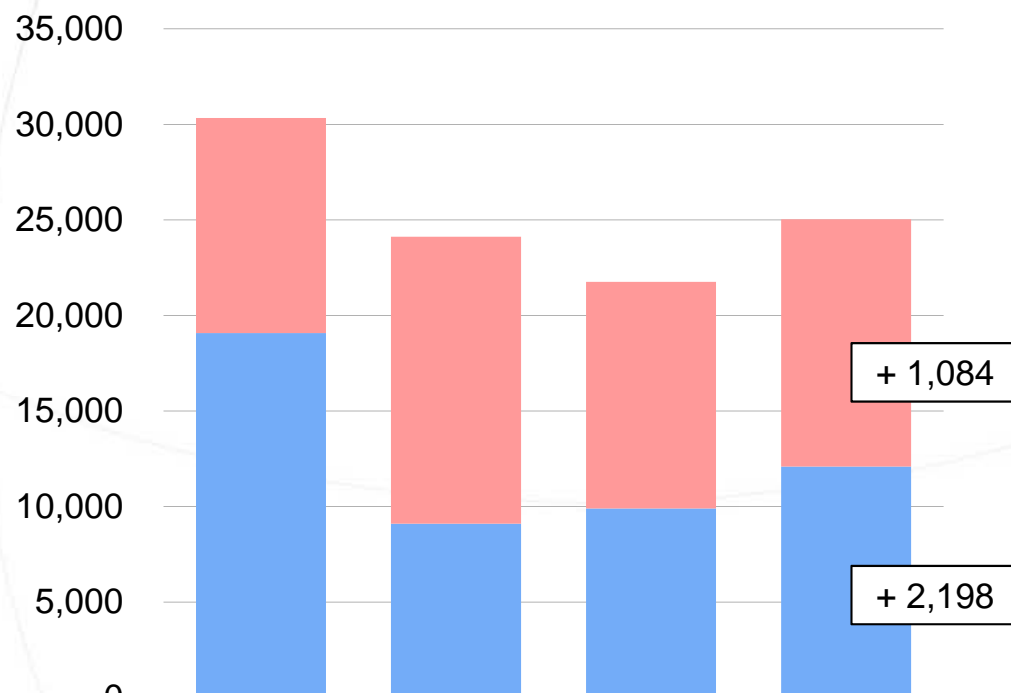
営業利益分析（要因別）



※売上減少と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出

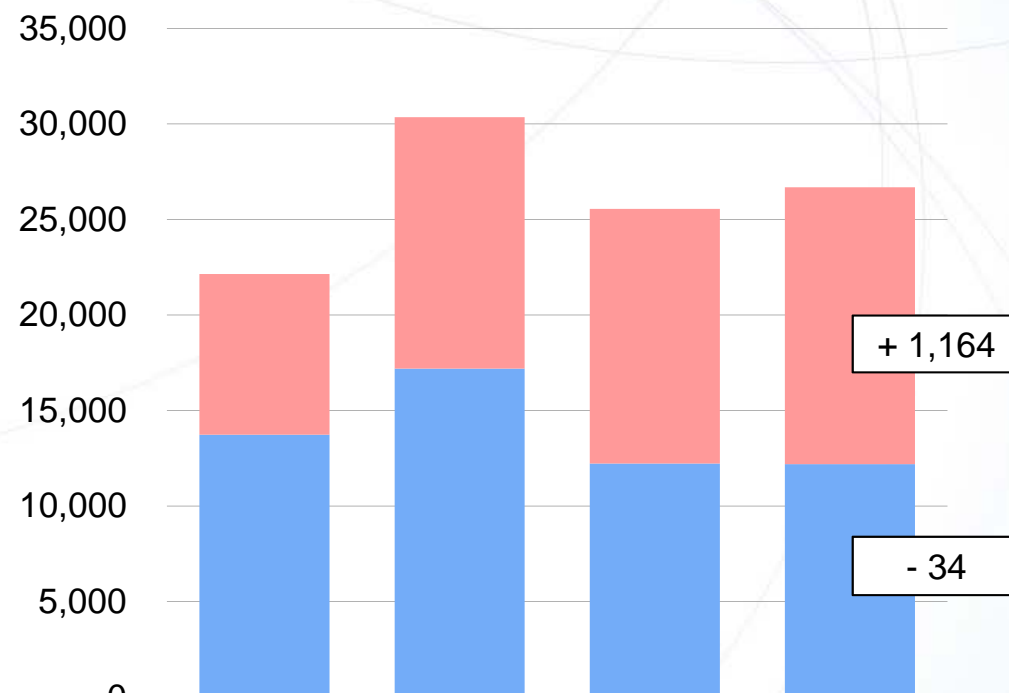
電子産業向け 受注高／売上高推移

受注高



	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03
計	30,335	24,127	21,758	25,040
海外	11,250	15,023	11,856	12,940
国内	19,085	9,104	9,902	12,100

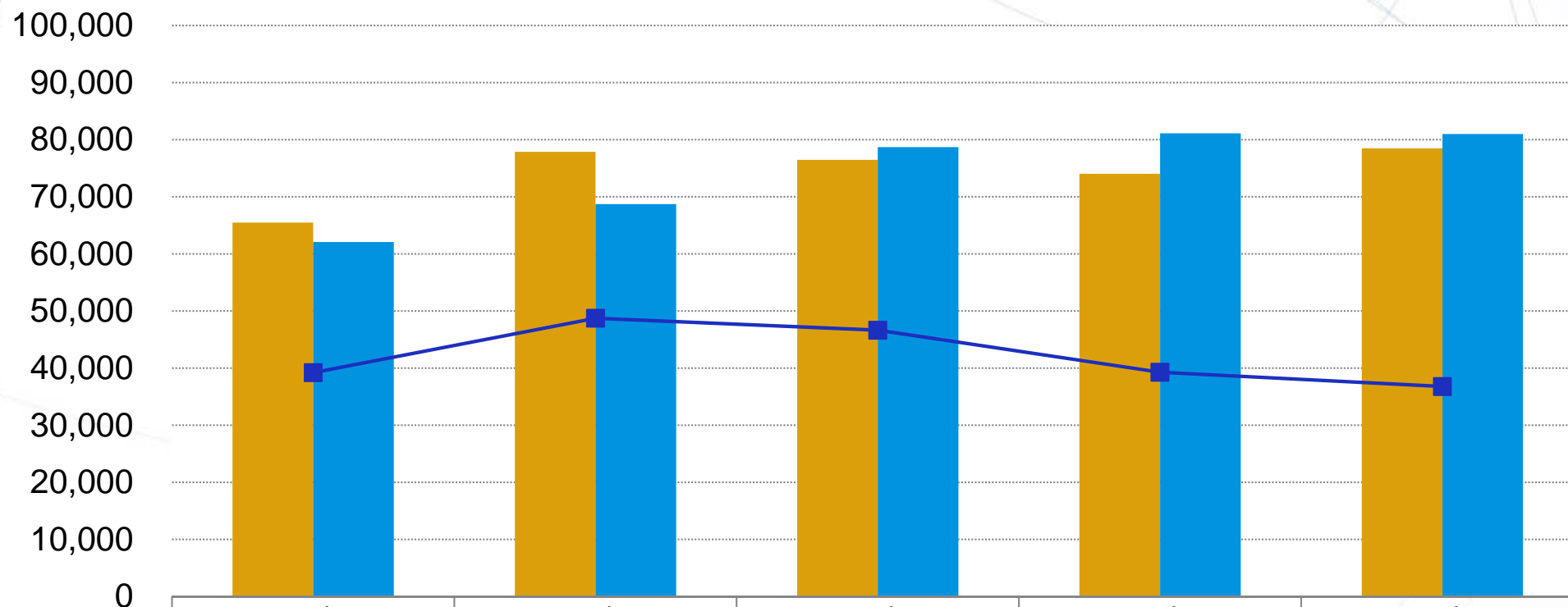
売上高



	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03
計	22,145	30,359	25,555	26,685
海外	8,406	13,164	13,321	14,485
国内	13,739	17,195	12,234	12,200

受注高・売上高・受注残高推移

(単位：百万円)



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03
■ 受注高	65,501	77,873	76,485	74,041	78,500
■ 売上高	62,096	68,741	78,719	81,114	81,000
■ 受注残	39,212	48,732	46,640	39,283	36,783

主な指標

	2017年3月期	2018年3月期 (計画)
設備投資額 (百万円)	903	1,000
技術研究費 (百万円)	1,495	1,790
減価償却費 (百万円)	950	950
有利子負債 (百万円)	16,910	15,600
従業員数 (人)	2,100	2,110
年間配当金 (円/株)	11	10 ※
ROE (%)	5.7	4.0

※2017年4月1日時点の株式単位で表記

(2017年10月1日に株式併合(現在の5株を1株に併合)を予定しているため、
 期末配当は25円/株となる見込み)

新たな中期経営計画（2017～2019年度）

- 中長期的な事業環境の認識
- 新たな連結経営指標
- 営業利益率・ROE計画の考え方
- セグメント別計画
- 海外 地域別売上高計画
- 重点施策

中長期的な事業環境の認識

【国内】

大型設備投資は少ないが、設備の維持・更新のための投資は向上

IoT関連産業の成長

原子力発電所再稼働は緩やかなペース

水処理関連市場規模は年1～2%程度の成長

【海外】

経済状況は全般的に回復基調

中国を中心に半導体関連投資伸長

電気自動車の普及に伴いリチウム二次電池関連産業が拡大

インド、東南アジア等で発電所建設進行

中国、東南アジア、インドの水処理関連市場規模は年10%程度の成長

新たな連結経営指標

	2016/03実績	2017/03実績	2018/03計画	2019/03計画	2020/03計画
受注高	76,485	74,041	78,500	84,000	88,000
売上高	78,719	81,114	81,000	81,000	86,000
営業利益	3,947	4,114	3,050	3,400	4,300
同率(%)	5.0	5.1	3.8	4.2	5.0
ROE (%)	5.4	5.7	4.0	4.4	5.4



【2017～2018年度】収益力の改善に向けた「投資期間」と位置付け
 【2019年度以降】営業利益率・ROE5%以上を安定的に確保
 ⇒将来的にはROE8%以上を達成

既存事業の
コスト競争力強化

収益性の良い
案件の発掘

差別化された
技術や製品の
改良・深化

中長期の持続的
成長のための
新事業分野創出

重点的に資源投入



営業利益率・ROE計画の考え方

営業利益率・ROE計画

【2017年度】低下 【2018年度】上昇

【2019年度～】安定的に5%以上⇒将来的にROE8%以上を目指す

<低下要因>

- 海外プラント売上高比率増（電力、電子分野）
- 販管費増（技術開発費、新規事業開拓・事業化推進等）

<上昇要因>

- 収益性向上策進捗／機能商品売り上げ拡大

【計画値上積みへの取組み】

コストダウン・収益性向上策の徹底

変動要因

海外半導体大型案件
（数十億円/件）の
受注有無

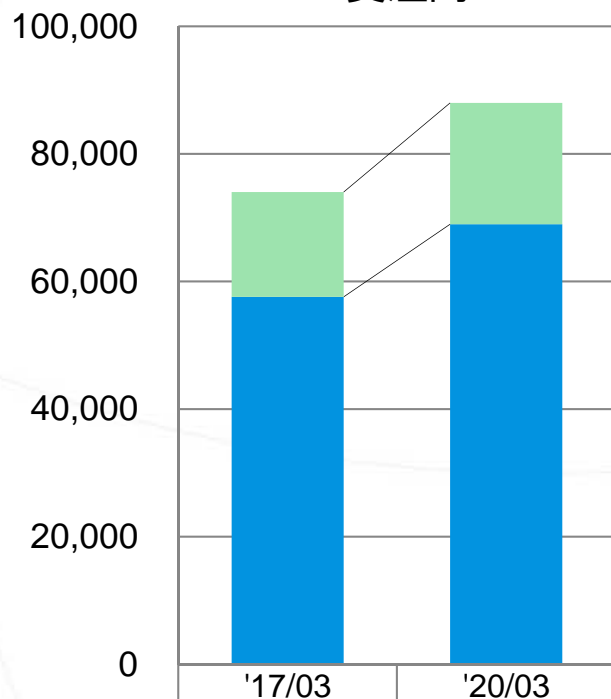
原子力発電所
再稼働の進捗

世界経済・事業環境の
不透明さ

(単位：百万円)

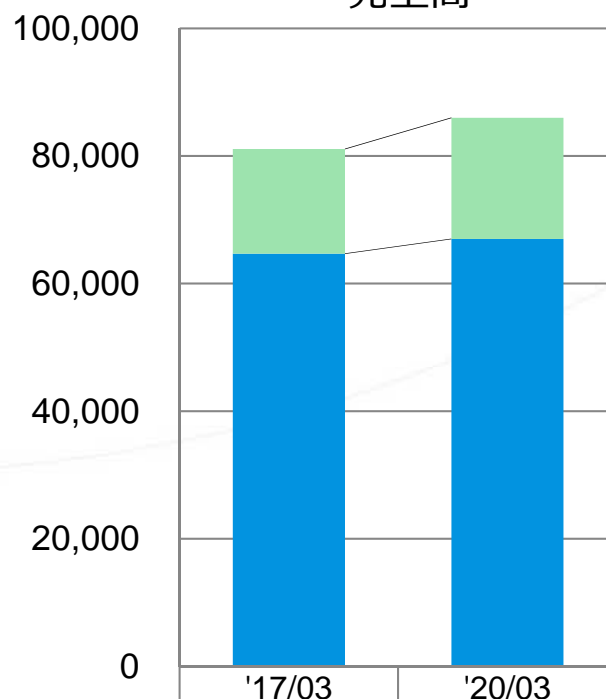
セグメント別計画

受注高



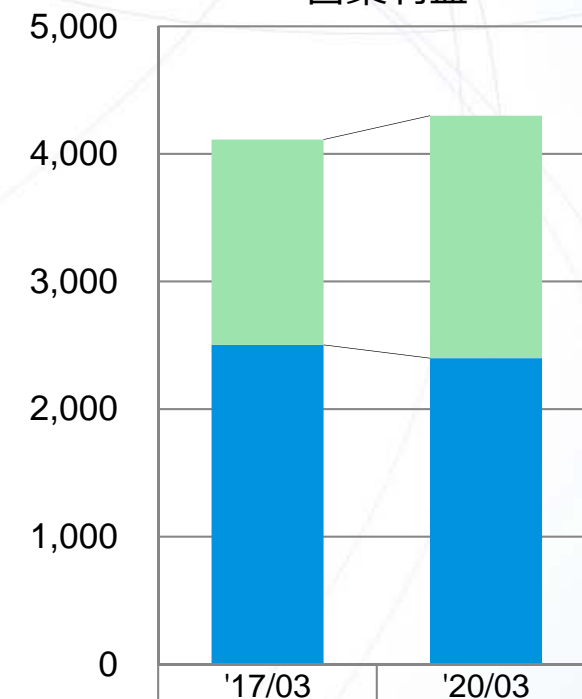
	'17/03	'20/03
計	74,041	88,000
機能商品	16,429	19,000
水処理エンジ	57,611	69,000

売上高



	'17/03	'20/03
計	81,114	86,000
機能商品	16,413	19,000
水処理エンジ	64,700	67,000

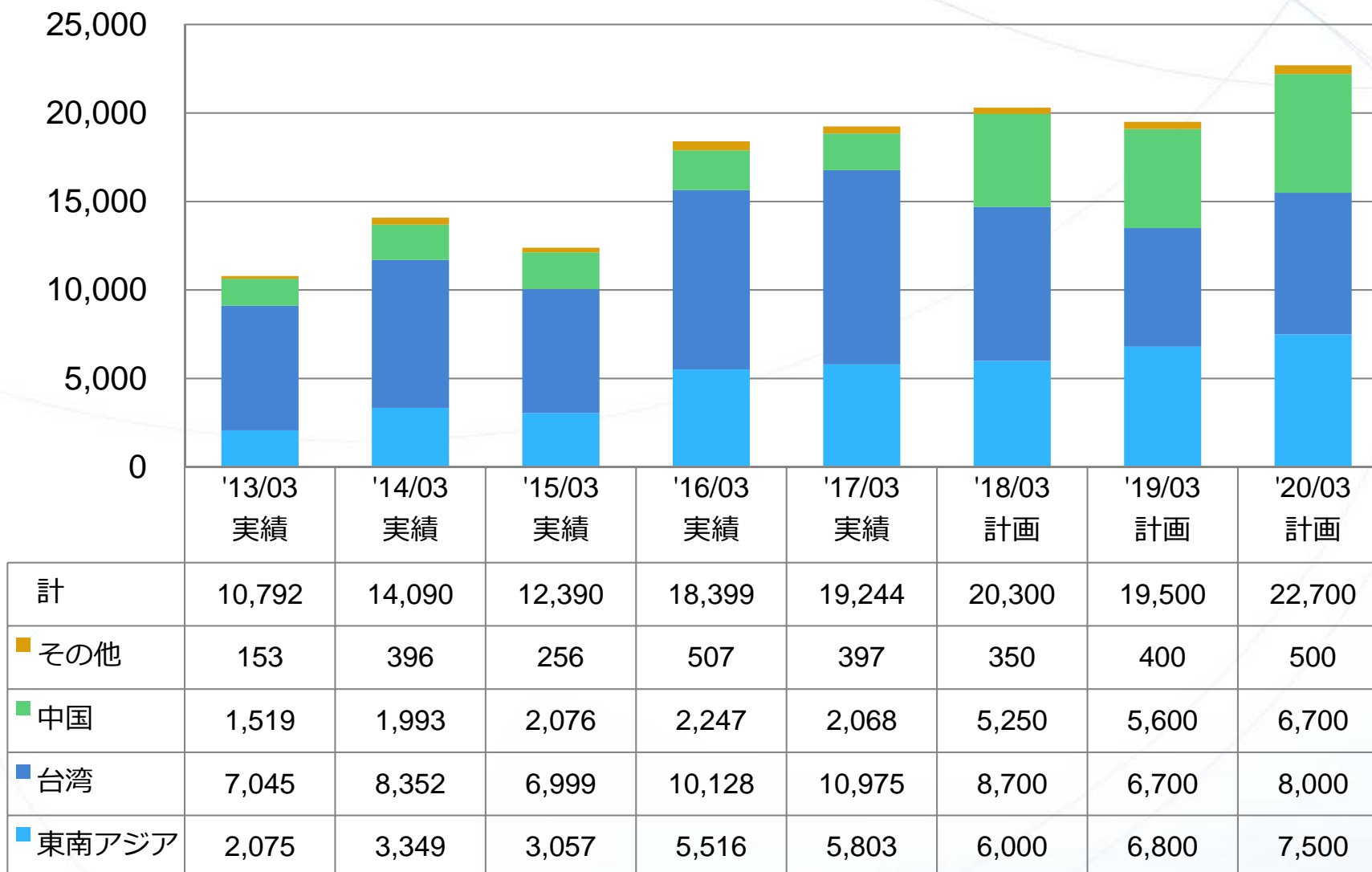
営業利益



	'17/03	'20/03
計	4,114	4,300
機能商品	1,609	1,900
水処理エンジ	2,504	2,400

(単位：百万円)

海外 地域別売上高計画



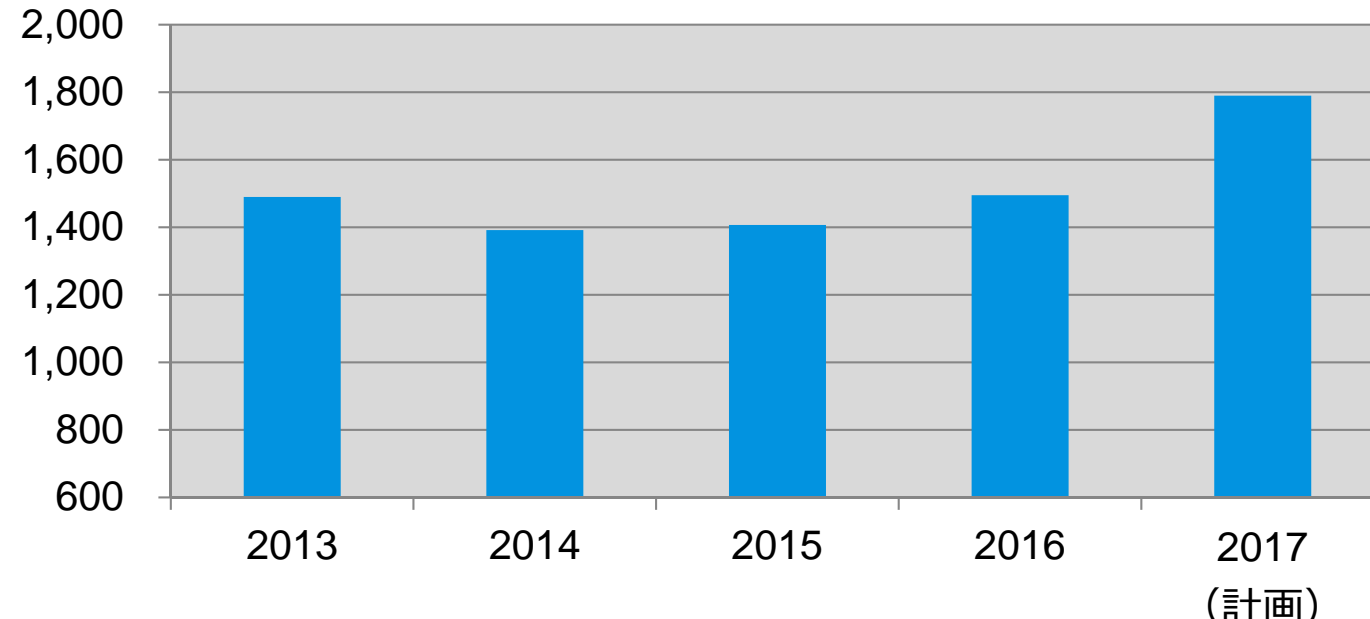
重点施策（1）

分野		施策
電力分野	国内	原子力発電所再稼働に係る案件の確実な受注 コストダウンの推進
	海外	海外現地法人との連携によるブランド戦略の推進 海外企業との関係構築による営業力強化
電子分野	国内	コストダウンの推進による競争力強化
	海外	中国での受注案件の着実な遂行と新規案件受注に向けた 中国・台湾・日本の連携強化 台湾市場での更なるプレゼンス強化
	新規分野	半導体ウェットプロセスへの技術開発と事業展開の推進 非水溶媒、ガス関連分野への挑戦

重点施策（2）

分野		施策
機能商品	標準型機器・フィルター	新規開発製品の早期上市と事業戦略の構築 後続機種の開発・ラインナップ拡充 海外を含めた販売・技術サービス体制整備
	水処理薬品	新規薬品の探索・開発 海外事業体制整備
	食品添加剤	生産性効率向上 製品ラインナップ拡充・市場領域の拡大
分離精製	二次電池関連市場	リチウム二次電池正極用溶剤（NMP）の回収・精製技術確立とビジネスモデル・事業実施体制構築
	分離精製応用分野	新たな高付加価値成分分離・精製ニーズの探索と技術開発

重点施策（3）

分野	施策											
研究開発・ 新規事業	<p>機能商品、半導体プロセス、非水溶媒・ガス分離精製等の各重点分野を中心に、更なる成長を実現するための研究開発にリソースを集中</p>											
	<p style="text-align: center;">技術研究費の推移</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>技術研究費の推移 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>技術研究費 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>1,380</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>2017 (計画)</td> <td>1,780</td> </tr> </tbody> </table>	年	技術研究費 (百万円)	2013	1,480	2014	1,380	2015	1,400	2016	1,480	2017 (計画)
年	技術研究費 (百万円)											
2013	1,480											
2014	1,380											
2015	1,400											
2016	1,480											
2017 (計画)	1,780											

重点施策（4）

分野	施策
収益性	高利益案件の開拓と集中 経営資源の最適化と見直しの継続
海外	海外現地法人の収益性改善 アジア地域のマーケティング強化 新しい事業エリアの探索
CSR	CSR強化に向けた活動基本方針策定、専任チーム立上げ

さらなる発展に向けて

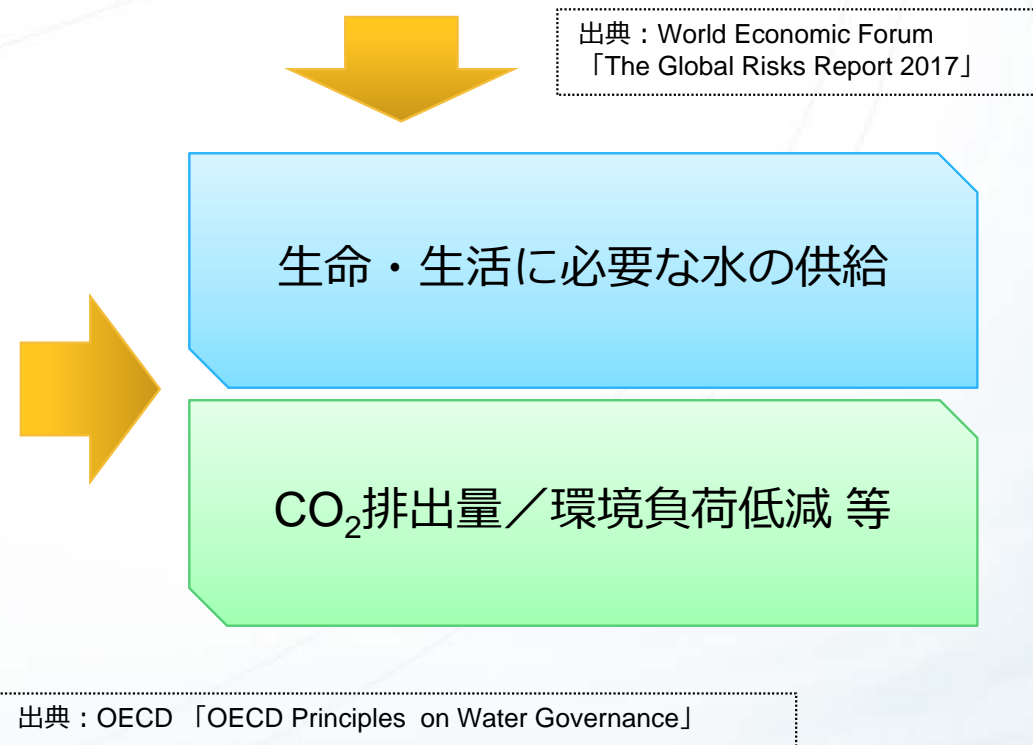
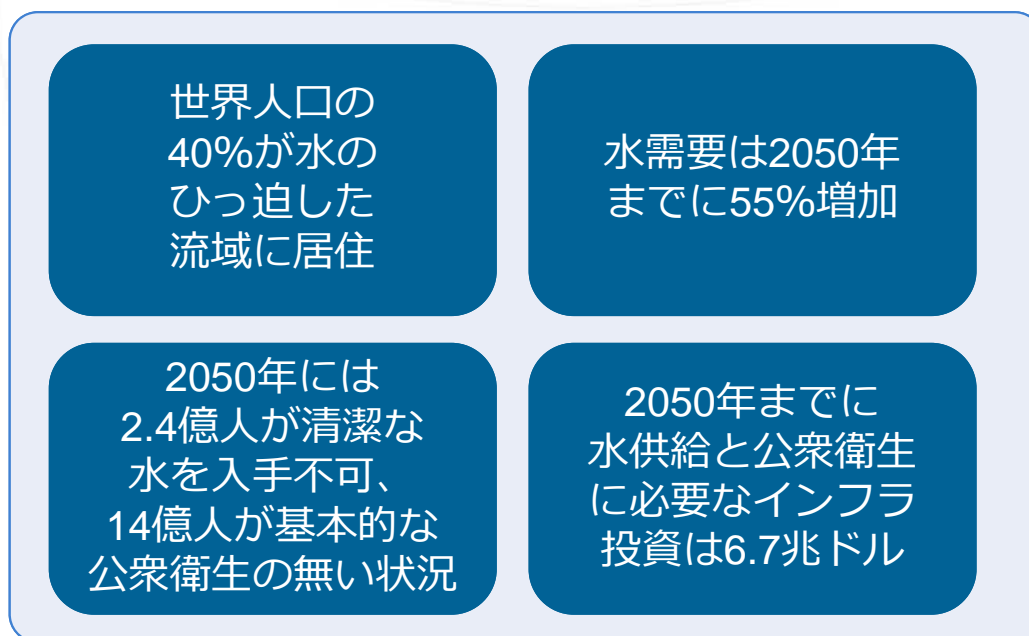
- オルガノグループが目指す姿
- さらなる役割と発展の方向

オルガノグループが目指す姿 <世界のリスクとニーズ>

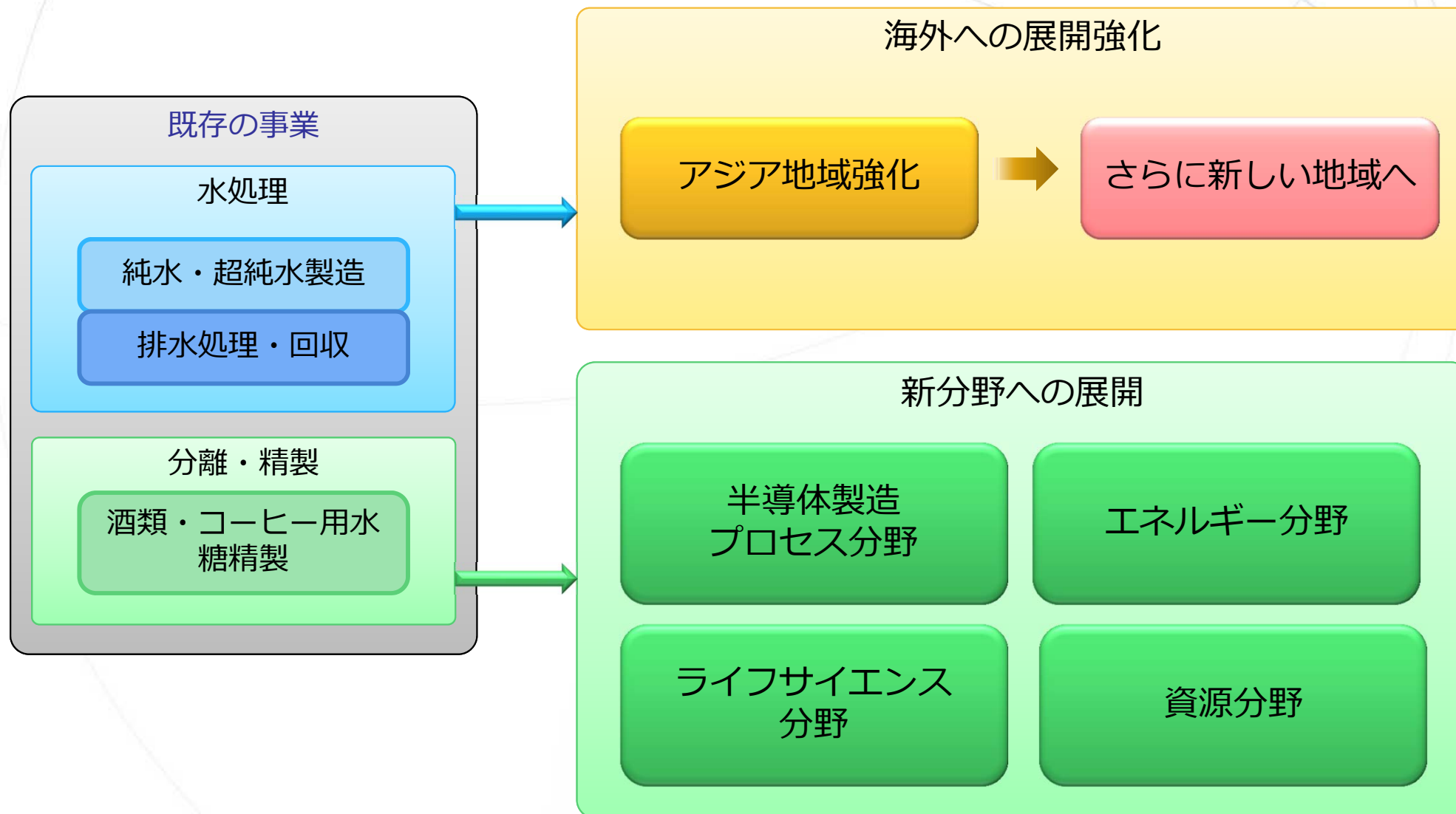
○ 世界経済フォーラム2017年年次総会（ダボス会議）で示されたグローバルリスク

	1st	2nd	3rd	4th	5th
発生可能性が高いリスク	異常気象	大規模な非自発的移民	大規模な自然災害	大規模なテロ攻撃	大規模なデータ詐欺・データ盗難
負のインパクトが大きいリスク	大量破壊兵器	異常気象	水リスク	大規模な自然災害	気候変動緩和・適応の失敗

○ OECD（経済開発協力機構）が示す水リスク

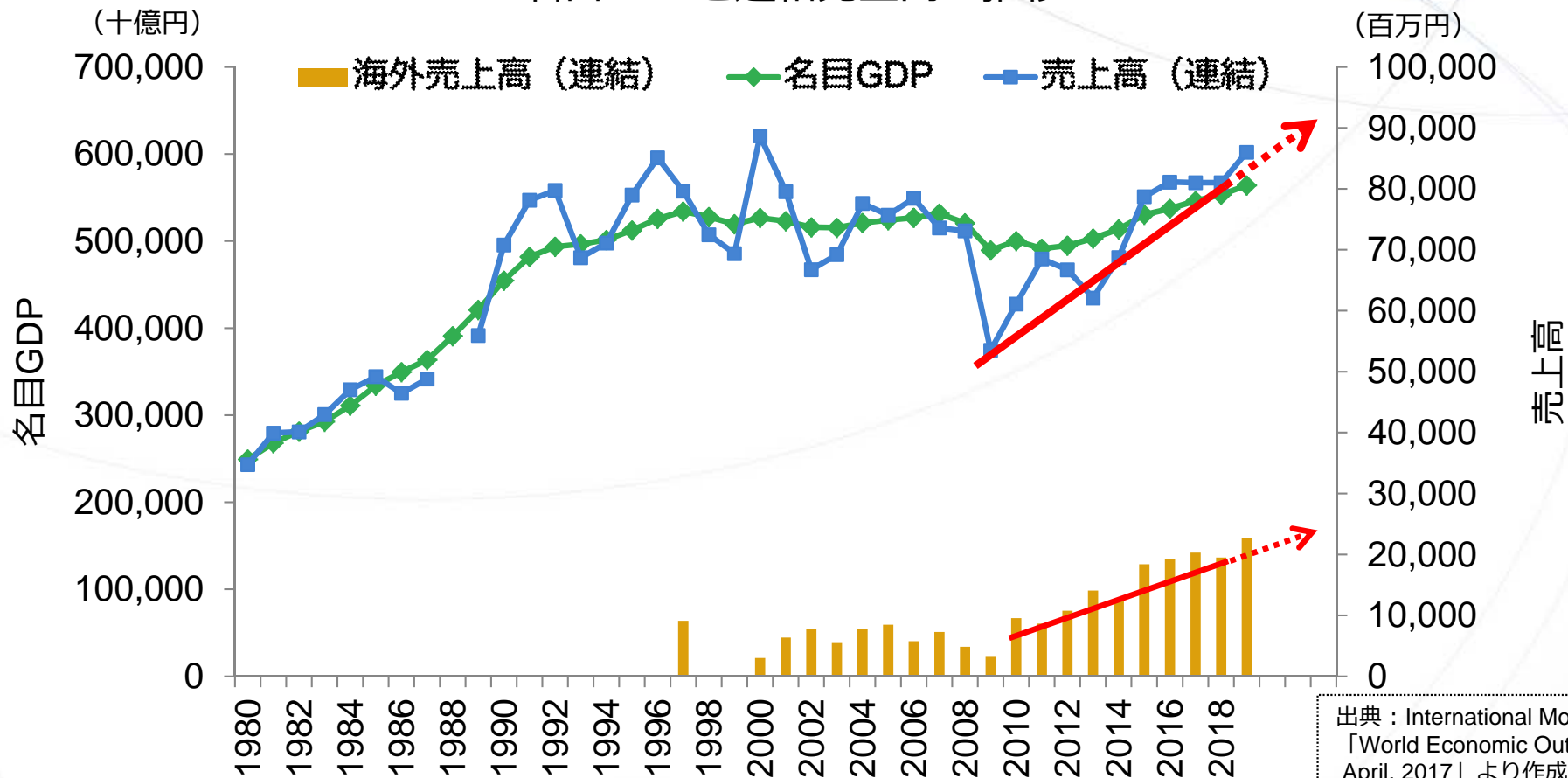


オルガノグループが目指す姿<オルガノの役割>



オルガノグループが目指す姿 <飛躍する売上高>

名目GDPと連結売上高の推移

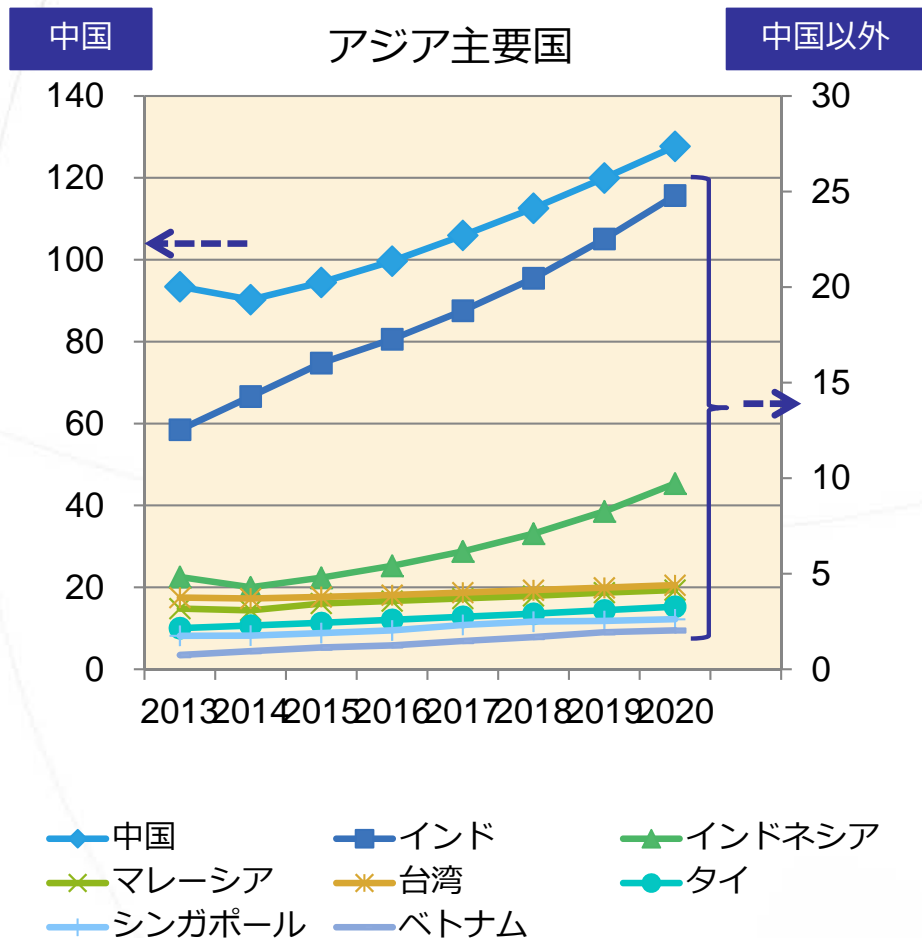


海外売上高が増加した2010年度以降、名目GDPの伸びを連結売上高の伸びが上回る
 ⇒ 海外事業展開により、水処理市場の成長が鈍化している日本の景気動向に
 左右されない事業ポートフォリオ転換が進行
 【海外事業の拡大が不可欠】

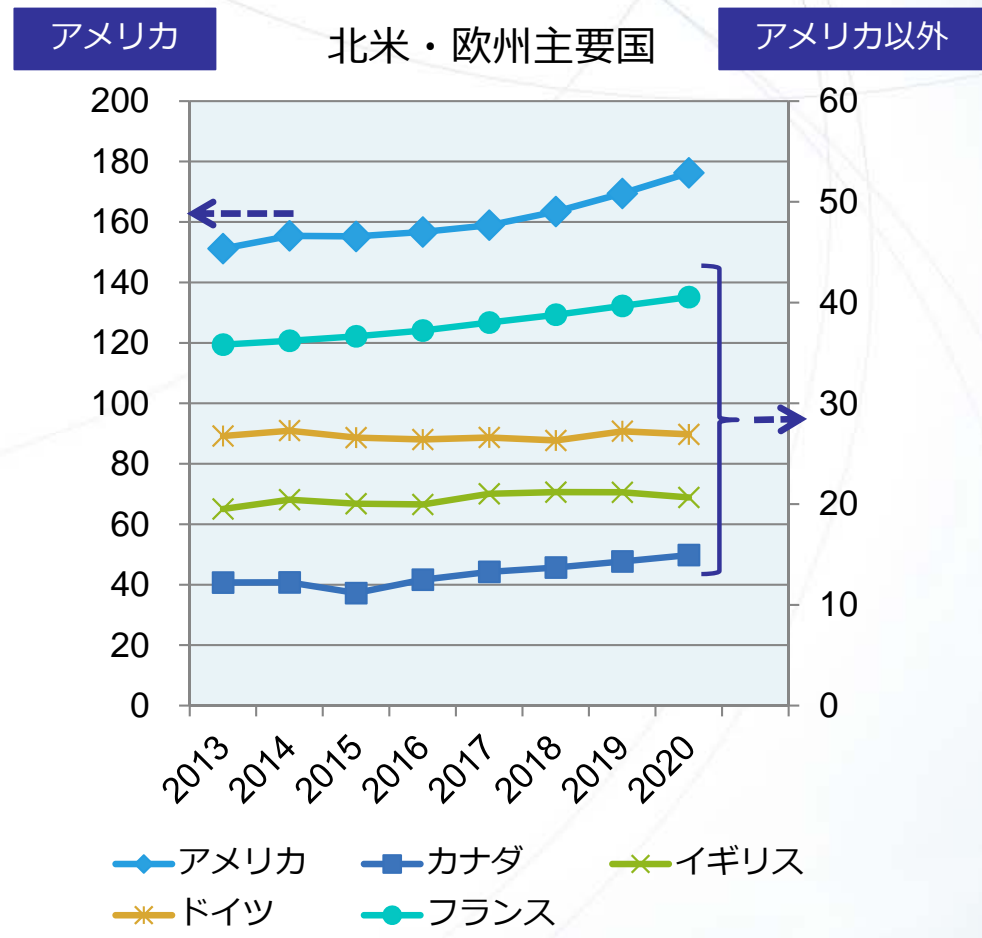
オルガノグループが目指す姿 <伸びる海外への展開>

(単位：百万US\$)

海外水処理市場規模の推移



平均年間成長率 (2013-2020)
10.0%



平均年間成長率 (2013-2020)
1.7%

出典：Global Water Intelligence 「Global Water Market 2017」 より作成

オルガノグループが目指す姿〈ターゲットとミッション〉

ターゲット

【水処理市場】 【生活水準向上】 が
進行中または今後進展するエリア

既存事業エリア	
中国	半導体 電力
台湾	半導体
東南アジア	電力 一般産業
インド	一般産業 電力



新しい国・エリアの探索
産業・生活向けの 良質な水のニーズ

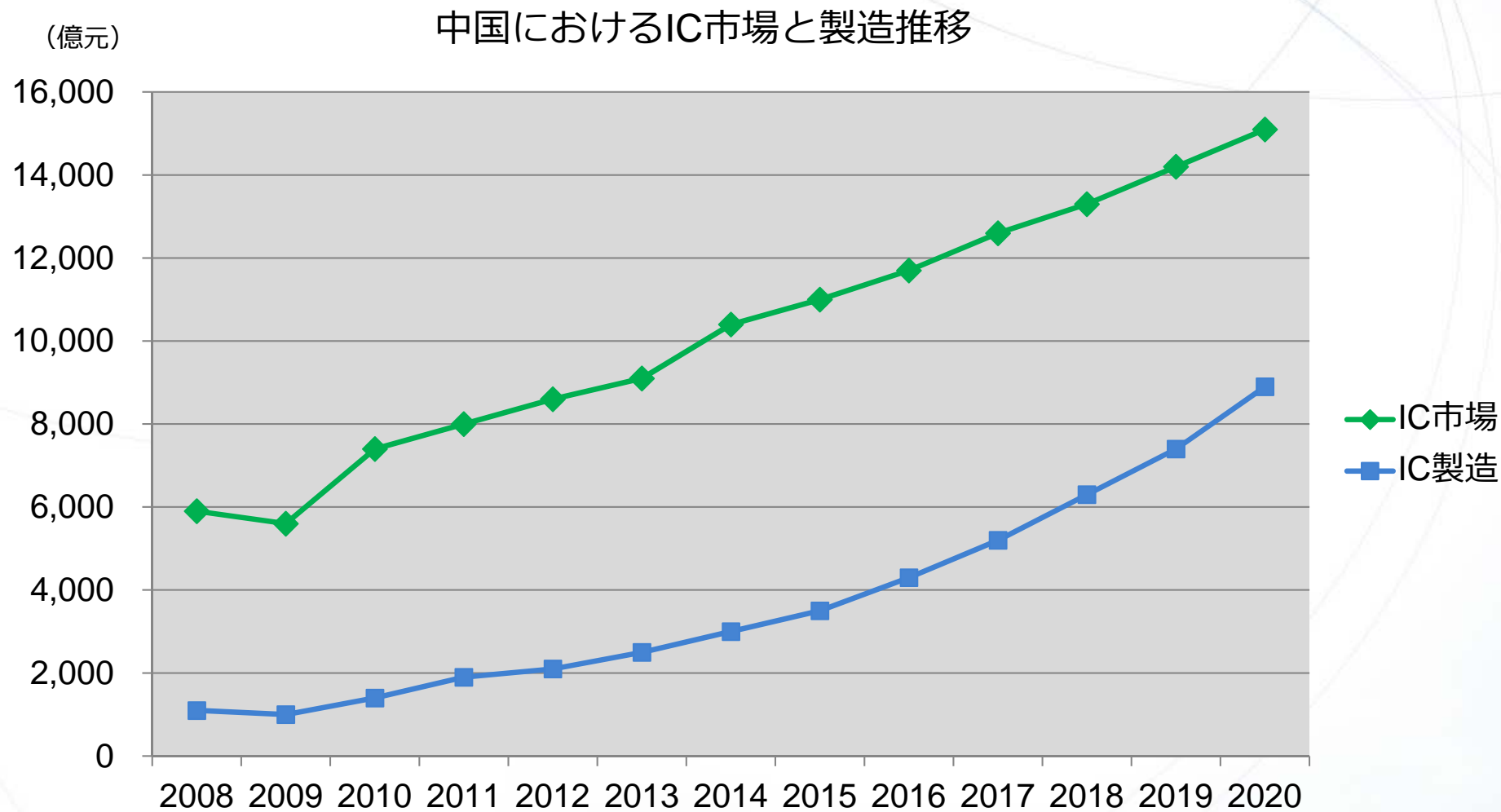
ミッション

産業・生活に求められる
水関連技術・製品の提供

社会 インフラ	発電所用水
	飲料水（海水淡水化等）
産業	生産用水
生活	食品原料・原水
	医薬用水
環境	排水処理・排水回収（ZLD※）
	低環境負荷技術 （省エネ・CO ₂ 排出量削減・ 資源有効利用等）

※ ZLD (Zero Liquid Discharge) : 排水を回収・再利用し外部に
排出しないシステム

オルガノグループが目指す姿 <伸びる市場へ>

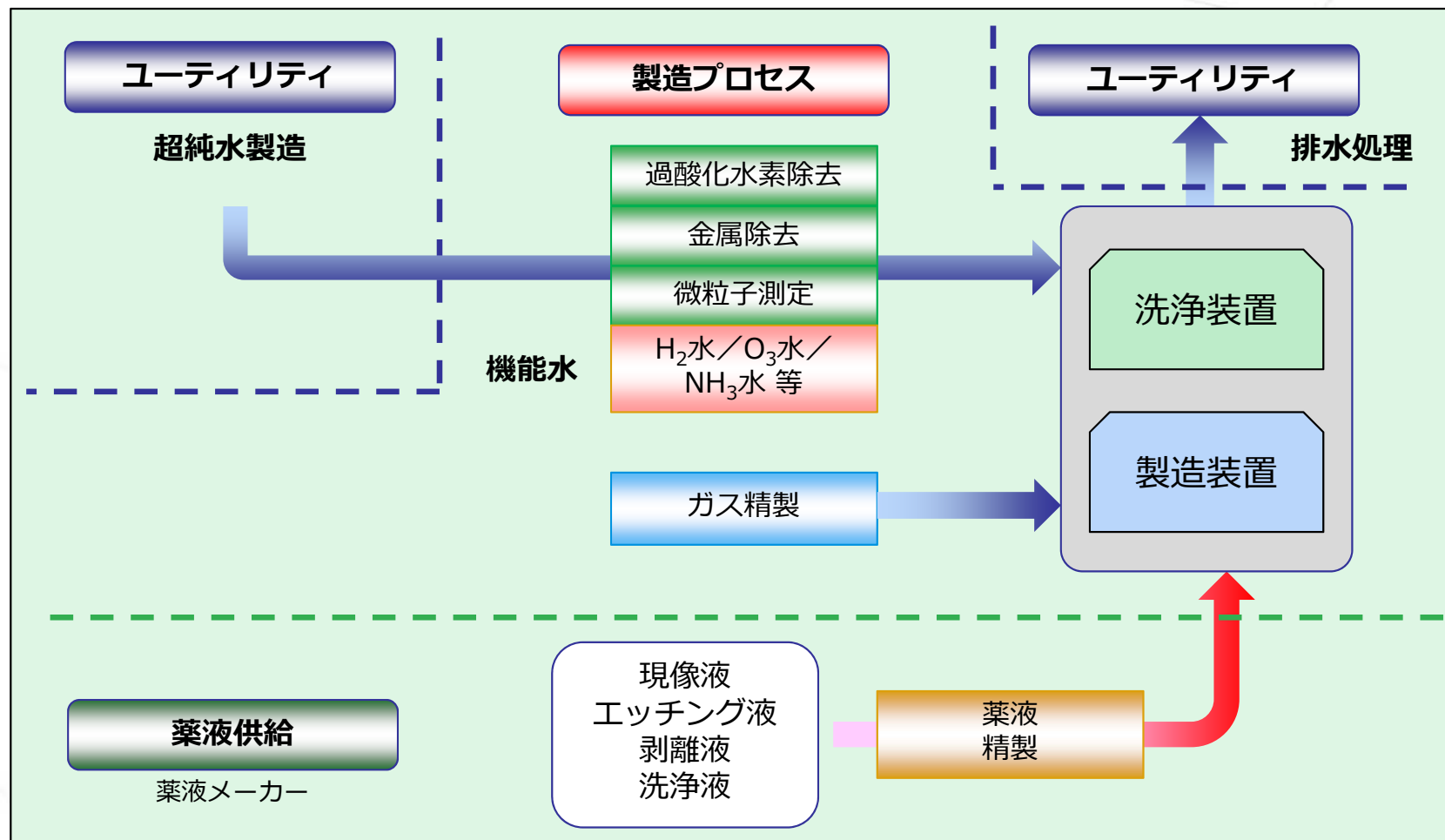


※IC製造：設計+前工程+後工程の合計

出典：産業タイムズ社 電子デバイス産業新聞・上海セミナー in 2016年度（第2回）
「2017年の中国エレクトロニクス業界はどうか？」より作成

オルガノグループが目指す姿 <新しい事業分野へ>

半導体製造プロセス分野



オルガノグループが目指す姿 <社会ニーズに応える>

エネルギー分野・資源分野

既存技術・事業

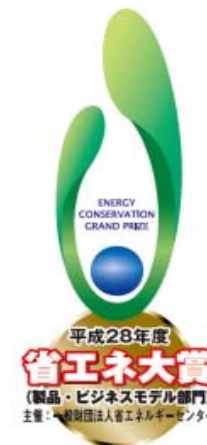
発電所向け水処理



フッ素回収システム「エコクリスタ」



水熱利用システム



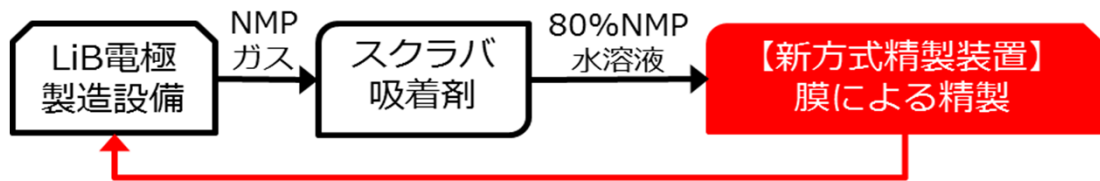
オルガノグループが目指す姿 <社会ニーズに応える>

エネルギー分野・資源分野

将来の成長に向けて取り組む事業

【リチウム二次電池関連分野】電気自動車の普及とともに市場拡大

正極製造用溶剤（NMP）精製・回収



精製NMP（水分<100ppm）
※従来法では水分<500ppm

世界のNMP製造能力：36万トﾝ（2015年）
LiB向け高グレードNMP：全体の約10%と想定（3.6万トﾝ）

年率10%で拡大予想

電解液精製

希少金属分離・回収

オルガノグループが目指す姿 <社会ニーズに応える>

ライフサイエンス分野

既存事業分野

医薬用水・注射用水製造



生化学分析用
純水製造装置



+

将来の成長に向けて取り組む事業

【医薬製造プロセス分野】

高齢化社会の進行、健康志向に伴い、ニーズ拡大

バイオ医薬分野

機能材料の機能開発・
新規用途開発による新分野開拓

さらなる役割と発展の方向

収益力の改善・増進

営業利益・ROE8%以上を
確保する収益構造確立

- 既存事業のコスト競争力強化
- 高収益性案件・分野発掘
- 差別化技術・製品の改良・進化

新しい事業分野の創出

中長期の持続的成長の
基盤確立

- 新規事業探索・研究開発へ更なる資源
投入

目指す姿の実現へ

コーポレートガバナンスに関する取組み


コーポレートガバナンスに関する取組み

項目	取組み・課題
単元株式の変更・ 株式併合	<p>【取組み】（2017年10月1日を予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1,000株から100株への変更 <p><全国証券取引所が求める売買単位（100株）の統一に対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5株を1株に併合 <p><投資家に望ましい投資単位（5万円～50万円）へ調整></p>
独立監査役	<p>【取組み】</p> <p>独立監査役1名を選任予定（2017年6月29日の株主総会）</p>
政策保有株式	<p>【取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の財務面または取引面に対する有用性を判断し評価（2016年6月） ・ 評価に基づき一部売却（2016年10月）
株主・投資家との 建設的な対話	<p>【取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株主説明会開催 ・ 投資家・アナリストとの個別ミーティング実施 <p>【課題】</p> <p>IR活動の活性化</p>
各種会議体の 見直し	<p>【取組み】（2017年2月実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 位置付け、構成員、上程議案内容等の整理・改正 ・ 非業務執行取締役の積極的参加

コーポレートガバナンスに関する取り組み

項目	取組み・課題	
取締役会 実効性評価	評価方法	全取締役・監査役対象アンケート、取締役会での議論（2016年4～6月実施）
	主な 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会の実効性：取締役の能力・選任・報酬、経営戦略 等 ・取締役会の構成：役員の過不足、多様性 等 ・取締役会の運営方法：開催頻度、審議時間 等 ・社外役員への支援体制：情報提供、事前説明 等 ・投資家・株主との関係・対話：情報開示、経営へのフィードバック 等
	評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・上程議案、社外役員への説明等は適正 ・取締役会は概ね実効性あり
	課題及び 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・企業価値、経営方向性の明確化：中長期経営戦略の議論・審議を深耕 CSR方針・活動の検討 ・IR等社外への情報発信の充実：体制・要員整備を含めあり方再考 ・取締役報酬制度の充実：報酬委員会で中長期インセンティブ議論 ・取締役選任の議論充実：取締役会の関与拡大 等

コーポレートガバナンスに関する取り組み

項目	取組み・課題
CSR活動の充実	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動基本方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動対象：社会的信頼度を向上させる活動を拡大 ・ 情報発信：社内外向け情報伝達・コミュニケーション強化 <ESGの観点に基づく情報開示> ・ あるべき姿の再考：理想とする企業将来像の明確化 <オルガノの存在意義、社会的役割の再考> <企業コンセプト、企業理念、経営理念等の見直し> ○ 専任チームの立上げ
多様な人材の活躍	<p>【取組み・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性活躍推進法に基づく優良企業認定「えるぼし」の三ツ星（最上位）取得（2017年1月） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ全体で多様な人材の更なる活用、育成 <海外現地法人スタッフの育成 等> <div style="text-align: right;">  <p>「えるぼし」認定マーク</p> </div>

コーポレートガバナンスに関する取り組み

項目	取組み・課題																								
役員報酬制度の見直し	<p>【取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○検討組織：報酬委員会（2016年4月設置）および取締役会 ○短期業績（前年度営業利益）連動報酬部分の拡大（2016年6月） <div data-bbox="593 657 2154 1318" style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <table border="1"> <caption>役員報酬の内訳割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>固定 (%)</th> <th>業績連動 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社長</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>取締役兼常務執行役員</td> <td>60</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>取締役兼執行役員</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>非常勤取締役</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社外取締役</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>常務執行役員</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>執行役員</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【課題】 中長期業績連動報酬の導入（検討中）</p>	役職	固定 (%)	業績連動 (%)	社長	50	50	取締役兼常務執行役員	60	40	取締役兼執行役員	70	30	非常勤取締役	100	0	社外取締役	100	0	常務執行役員	70	30	執行役員	70	30
役職	固定 (%)	業績連動 (%)																							
社長	50	50																							
取締役兼常務執行役員	60	40																							
取締役兼執行役員	70	30																							
非常勤取締役	100	0																							
社外取締役	100	0																							
常務執行役員	70	30																							
執行役員	70	30																							

オルガノ株式会社

お問合せ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : info@organo.co.jp

<http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2017年3月期決算説明会 補足資料



オルガノ株式会社

2017年5月16日

<目 次>

1.	2017年3月期決算報告及び2018年3月期計画		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



オルガノ株式会社

1. 2017年3月期決算報告及び2018年3月期計画

① 連結損益

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期					2018年3月期 (計画)			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	76,485	△ 1.8 %	38,332	△ 6.1 %	76,500	74,041	△ 3.2 %	36,500	△ 4.8 %	78,500	6.0 %
売上高	78,719	14.5 %	34,364	2.6 %	79,000	81,114	3.0 %	33,500	△ 2.5 %	81,000	△ 0.1 %
海外売上高 (海外売上高比率)	18,399	48.5 %	8,279	△ 7.0 %	18,500	19,244	4.6 %	8,900	7.5 %	20,300	5.5 %
	23.4%		24.1%		23.4%	23.7%		26.6%		25.1%	
売上総利益 (売上総利益率)	17,749	14.2 %	7,744	16.3 %	17,300	18,644	5.0 %	7,400	△ 4.4 %	17,650	△ 5.3 %
	22.5%		22.5%		21.9%	23.0%		22.1%		21.8%	
販管費	13,802	5.0 %	7,057	3.1 %	14,300	14,529	5.3 %	7,100	0.6 %	14,600	0.5 %
営業利益 (営業利益率)	3,947	64.6 %	687	— %	3,000	4,114	4.2 %	300	△ 56.3 %	3,050	△ 25.9 %
	5.0%		2.0%		3.8%	5.1%		0.9%		3.8%	
経常利益 (経常利益率)	3,871	57.0 %	533	— %	2,900	4,162	7.5 %	250	△ 53.1 %	2,950	△ 29.1 %
	4.9%		1.6%		3.7%	5.1%		0.7%		3.6%	
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益 (当期純利益率)	2,485	129.0 %	89	— %	1,950	2,731	9.9 %	55	△ 38.5 %	2,000	△ 26.8 %
	3.2%		0.3%		2.5%	3.4%		0.2%		2.5%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2016年3月期		2017年3月期					2018年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		計画	通期		第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比		実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	76,485	△ 1.8 %	38,332	△ 6.1 %	76,500	74,041	△ 3.2 %	36,500	△ 4.8 %	78,500	6.0 %
水処理エンジ	60,529	△ 2.9 %	30,211	△ 8.1 %	60,250	57,611	△ 4.8 %	28,000	△ 7.3 %	61,500	6.7 %
機能商品	15,956	2.6 %	8,120	2.3 %	16,250	16,429	3.0 %	8,500	4.7 %	17,000	3.5 %
売上高	78,719	14.5 %	34,364	2.6 %	79,000	81,114	3.0 %	33,500	△ 2.5 %	81,000	△ 0.1 %
水処理エンジ	62,907	17.9 %	26,288	2.4 %	62,750	64,700	2.9 %	25,000	△ 4.9 %	64,000	△ 1.1 %
機能商品	15,811	2.8 %	8,076	3.5 %	16,250	16,413	3.8 %	8,500	5.2 %	17,000	3.6 %
営業利益 （営業利益率）	3,947	64.6 %	687	— %	3,000	4,114	4.2 %	300	△ 56.3 %	3,050	△ 25.9 %
	5.0%		2.0%		3.8%	5.1%		0.9%		3.8%	
水処理エンジ （利益率）	2,553	150.0 %	△ 133	— %	1,580	2,504	△ 1.9 %	△ 500	— %	1,400	△ 44.1 %
	4.1%		— %		2.5%	3.9%		— %		2.2%	
機能商品 （利益率）	1,393	1.2 %	820	24.1 %	1,420	1,609	15.5 %	800	△ 2.5 %	1,650	2.5 %
	8.8%		10.2%		8.7%	9.8%		9.4%		9.7%	

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2016年3月期		2017年3月期					2018年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		計画	通期		第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比		実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	24,127	△ 20.5 %	11,217	△ 11.6 %	23,535	21,758	△ 9.8 %	14,500	29.3 %	25,040	15.1 %
国内	9,104	△ 52.3 %	5,354	△ 32.5 %	10,805	9,902	8.8 %	6,000	12.1 %	12,100	22.2 %
海外	15,023	33.5 %	5,863	23.3 %	12,730	11,856	△ 21.1 %	8,500	45.0 %	12,940	9.1 %
売上高	30,359	37.1 %	11,875	△ 11.7 %	25,860	25,555	△ 15.8 %	11,500	△ 3.2 %	26,685	4.4 %
国内	17,195	25.2 %	5,996	△ 17.7 %	13,275	12,234	△ 28.9 %	5,000	△ 16.6 %	12,200	△ 0.3 %
海外	13,164	56.6 %	5,879	△ 4.7 %	12,585	13,321	1.2 %	6,500	10.6 %	14,485	8.7 %

2. 主な指標

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期 (計画)		
	通期		通期		通期		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比	
連	設備投資額	603	80.2 %	903	49.7 %	1,000	10.7 %
	技術研究費	1,407	1.1 %	1,495	6.2 %	1,790	19.7 %
	減価償却費	950	△ 4.9 %	950	△ 0.0 %	950	△ 0.1 %
	有利子負債	17,412	36.9 %	16,910	△ 2.9 %	15,600	△ 7.8 %
結	金融収支戻	△ 50	—	△ 41	—	△ 50	—
	従業員数 (人)	2,088	+ 144 人	2,100	+ 12 人	2,110	+ 10 人
	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	43.17		47.44		173.68	
	1株当たり配当金 (円/年)	9.0		11.0		10.0	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	5.4		5.7		4.0	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	4.3		4.4		—	

※2018年3月期 (計画) 1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮して表記しております。
 ※2018年3月期 (計画) 1株当たり配当金につきましては、2017年4月1日時点の株式単位で表記しております。